TASKalfa 250ci/TASKalfa 300ci
TASKalfa 400ci/TASKalfa 500ci
プリンタドライバ

操作手順書

使用条件

このガイドのすべて、または一部を許可なく複製することは禁じられています。

このガイドに含まれる情報は、性能改善のため、予告なく変更される場合があります。

ここに記載された情報には関係なく、本製品の使用に伴って生じたいかなる問題にも、当社は責任を負いません。

商標について

- Microsoft Windowsは、米国またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標です。KPDLは、Kyocera Corporationの商標です。PCLは、Hewlett-Packard Companyの商標です。TrueTypeは、Apple Computer, Incの登録商標です。
- ここで使用されているブランド名、および製品名はすべて、それを所有する各企業の登録商標、または商標です。

このガイドで示されている操作例は、Windows XPの印刷環境に基づいています。基本的に、Microsoft Windows Vista、Windows Server 2008、およびWindows 2000の環境と操作方法は同じです。

このガイドに掲載されているUIのキャプチャ画面は、お使いのプリントデバイスの環境とは異なる場合があります。

KXプリンタドライバ対応機種

TASKalfa 250ci

TASKalfa 300ci

TASKalfa 400ci

TASKalfa 500ci

目次

3 簡単設定

4 基本設定

5 レイアウト

6 仕上げ

10 拡張機能

11 プロファイル

1 インストール

プリンタドライバは、プリンタと PC 間の通信を制御するアプリケーションです。インストールが完了したら、プリンタの**[**プロパティ**]**および**[**印刷設定**]**でプリンタドライバの設定を設定します。

こうした機能は、インストールを行うことで利用可能となります。

参考: Windows Vista、Windows XP、およびWindows 2000 でプリンタドライバをインストールする場合は、管理者権限を持ったユーザでログインする必要があります。プリンタドライバのインストールを行う前に、USB(ユニバーサルシリアルバス)ケーブルがすでに接続されている場合は、[新しいハードウェアの検出]ウィザードをキャンセルして、**[Product Library CD]** のメニューからドライバのインストールを行ってください。CDの中身を確認しながら、各ドライバを個別にインストールすることは、お勧めできません。

ドライバのインストール準備

このセクションでは、プリンタドライバをインストールする前の準備、およびオペレーティングシステムごとのインストール手順について説明します。

1 PCとプリンタの電源を入れます。USB接続がある場合、Windowsの**[**新しいハードウェアの検出ウィザード**]** ダイアログボックスが表示されます。**[**キャンセル**]** をクリックします。

2 **[Product Library CD]**を CD ドライブに入れます。

インストールウィザードが起動すると、**[**メインメニュー**]**が開きます。

参考: **Product Library CD** をCDドライブに入れても **Product Library**が起動しない場合は、Windowsのエクスプローラを使用して CD の **Setup.exe** をダブルクリックして起動します。

3 **[**使用許諾を表示**]** をクリックして、使用許諾契約書を読みます。

4 **[**同意する**]** をクリックして、次に進みます。

5 インストールを開始するには、**[**ソフトウェアのインストール**]**ウィザードをクリックします。

参考: インストール中に**[Windows** セキュリティ**]**警告ダイアログボックスが表示された場合は、**[**このドライバのインストールを継続する**]**をクリックします。

6 **[**インストール**]**ウィザードが開きます。**[**次へ**]** をクリックします。

インストール手順は、お使いのオペレーティングシステムや接続方法によって異なります。次のリストからオペレーティングシステムおよび接続方法を選択して参照ページに進み、インストールを続行します。

高速インストール

カスタムインストール

参考: **[KPrint]**を選択すると、クライアントのポートモニタがインストールされ、Windows TCP/IPはプリンタに接続されたどのネットワークカードからでも印刷できるようになります。KPrintは、LPR印刷とIPP印刷をサポートしています。**KPrint**のインストール手順については、**Product Library CD**をご覧ください。**KPrint** は、スタンドアロンのインストーラを使用します。

ユーティリティのインストール

[インストール方法**]**ページで、**[**ユーティリティ**]**をクリックして、ユーティリティをインストールします。インストールするユーティリティは、カスタムインストール手順からも選択することができます。

ドライバコンポーネントのアップグレード

インストールウィザードで古いドライバコンポーネントが検出された場合、**[**ソフトウェアコンポーネントのアップグレード**]** ページが表示されます。

1 アップグレードするコンポーネントを選択します。**[**次へ**]** をクリックします。

2 アップグレードの設定を確認します。**[**アップグレード**]** をクリックして、アップグレードを開始します。

3 アップグレードが完了したら、**[**次へ**]** をクリックします。**[**インストール方法**]**のページが表示されます。

高速モード

高速モード は、USBまたはネットワーク接続用のドライバインストールの場合にのみ利用することができます。インストールウィザードにより、USBまたはネットワークケーブルで接続されている、電源の入った京セラ製のプリンタが確認されます。**[**カスタムモード**]** では、インストールパッケージを選択したり、ポートを指定することができます。

Windows VistaおよびWindows XPでのインストール

このセクションでは、Windows XPおよびWindows Vista上でドライバソフトウェアをすばやくインストールする手順について説明します。

1 お使いのプリンタとPCの電源が入っていて、USBケーブル、またはネットワークケーブルで接続されていることを確認してください。

参考: **[**新しいハードウェアの検出**]**ダイアログボックスが開いた場合は、**[**キャンセル**]**をクリックします。**[**ハードウェアのインストール**]**警告ダイアログボックスが開いたら、**[**続行**]**をクリックします。

2 **[**インストール方法**]**ページで、**[**高速モード**]**を選択します。

3 **[**プリントシステムを検索**]**画面が開き、プリンタを探すことができます。**[**検索**]**で目的のプリンタが見つからなかった場合、メッセージが表示されます。USBまたはネットワークケーブルを取り外し、再度挿入してそれらが適切に接続されているか確認します。**[**更新**]**をクリックして、再度プリンタを検索します。それでもプリンタが見つからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

検索でプリンタが見つかった場合は、プリンタ名をクリックして選択します。

4 **[**ポート名にホスト名を使用**]**を選択して、標準TCP/IPポートのホスト名を使用するように設定することもできます。インストールウィザードの表示がまだIPアドレスになっている場合は、システム管理者にお問い合わせください。*(USB*接続は利用できません。*)*

5 IPアドレス、ホスト名、プリンタ機種、お問い合わせ、場所、シリアル番号の詳細を確認したい場合は、**[**情報**]**をクリックします。**[OK]** をクリックします。**[**次へ**]**をクリックします。*(USB*接続は利用できません。*)*

6 **[**インストール設定**]**画面で、プリンタに名前を付けることができます。

また、このプリンタを他のユーザと共有したり、デフォルトのプリンタとして設定することも可能です。必要な項目を選択し、**[**次へ**]** をクリックします。

7 **[**設定の確認**]** ページで、設定内容が正しいことを確認し、**[**インストール**]** をクリックします。設定を訂正する場合は、**[**戻る**]** をクリックします。

8 インストール完了画面が表示され、以下のドライバオプションが表示されます。

テストページを印刷

この機能をはプリンタとの接続状態を検証して、インストールされているドライバコンポーネントの一覧を印刷出力します。

簡単設定タブを表示する

この機能は、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義し、印刷時に簡単に呼び出して使用することを可能にします。**[**簡単設定タブを表示する**]** オプションは、**[**デバイス設定**]** タブの **[**管理者設定**]** でも表示されます。

ステータスモニタを有効にする

[ステータスモニタ**]**は、印刷時にお使いのパソコンのモニタに、プリンティングシステムの状況が表示されます。**[**拡張機能**]**タブには、**[**ステータスモニタ**]**ボタンが表示されます。

デバイス設定

[デバイス設定**]**を選択すると**[**デバイス設定**]**タブが開き、プリンタに合わせてインストールされているオプションを選択することができます。(**Windows Vista**、またはUSB 接続されている環境では、**[**デバイス設定**]** チェックボックスは表示されません。)

インストールが正常に終了したら、**[**終了**]**をクリックしてインストールウィザードを終了し、**[Product Library CD]**メニューに戻ります。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、次のメッセージが表示されます。

1つ以上のソフトウェアのインストールが失敗しました。

[完了**]** をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再び表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

これで、プリンタのインストールが完了しました。必要に応じて、パソコンを再起動してください。

カスタムインストール

[カスタムモード**]** は、必要に応じてユーティリティをインストールするオプションです。プリンタポート、フォント、インストールするユーティリティを指定することができます。

Windowsオペレーティングシステムと一緒に出荷されたプリンタドライバはミニドライバと呼ばれます。このミニドライバは、PCLとKPDLのそれぞれ向けに用意されており、お使いのプリンタでも基本的な機能を利用することができます。このユーザガイドでは、ミニドライバの機能について説明しておりません。

USB接続されたWindows VistaおよびWindows XPでのインストール

このセクションでは、USB接続されたWindows VistaおよびWindows XP上で、ドライバソフトウェアをカスタムインストールする手順について説明します。

1 お使いのプリンタとPCが、USBケーブルで接続されていることを確認してください。

2 **[**インストール方法**]** ページで、**[**カスタムモード**]** を選択します。

3 **[**プリントシステムを検索**]** ページが開き、**[**検索**]** がオンになって表示されます。このオプションを使用するか、または**[**ユーザ選択**]**オプションを選択します。

[検索**]**オプションを使用すると、ドライバインストールで使用可能なすべてのデバイスを検索できます。このオプションを使用する場合、手順4に進みます。

[ユーザ選択**]**オプションを使用すると、インストールするプリントシステムおよびプリンタポートを選択できます。手順6に進みます

[検索**]**で目的のプリンタが見つからなかった場合、メッセージが表示されます。プリンタが適切なケーブルで接続されており、電源が入っていることを確認してから、メッセージボックスを閉じます。USBケーブルを取り外し、再度コンピュータに挿入してプリンタを探してください。それでもプリンタが見つからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

4 **[**検索**]**で1つ以上のUSBプリントシステムが見つかった場合は、リストからモデルを選択します。**[**次へ**]**をクリックします。

5 **[**カスタムインストール**]** ページで、**[**ドライバ**]** および **[**ユーティリティ**]** タブからインストールするドライバとソフトウェアパッケージを選択し、インストールしないものはオフにします。**[**次へ**]**をクリックします。手順10に進みます。

6 **[**プリントシステム**]**ページでモデルを選択して、**[**次へ**]**をクリックします。

7 **[**プリンタポート**]**ページで、お使いのプリンタに接続されているポートを選択します。**[**次へ**]**をクリックします。

8 **[**カスタムインストール**]** ページで、**[**ドライバ**]** および **[**ユーティリティ**]** タブからインストールするドライバとソフトウェアパッケージを選択し、インストールしないものはオフにします。**[**次へ**]**をクリックします。

9 **[**プリンタ設定**]**ページで、プリンタに名前を付けることができます。また、このプリンタを他のユーザと共有したり、デフォルトのプリンタとして設定することも可能です。必要な項目を選択し、**[**次へ**]** をクリックします。

10 [設定の確認] ページで、設定内容が正しいことを確認し、[インストール] をクリックします。設定を訂正する場合は、[戻る] をクリックします。

参考： [ハードウェアのインストール]警告ダイアログボックスが開いたら、[続行]をクリックします。

11 [インストールが完了しました]画面が表示され、以下のドライバオプションが表示されます。

テストページを印刷

この機能をはプリンタとの接続状態を検証して、インストールされているドライバコンポーネントの一覧を印刷出力します。

簡単設定タブを表示する

この機能は、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義し、印刷時に簡単に呼び出して使用するを可能にします。[簡単設定タブを表示する] オプションは、[デバイス設定] タブの [管理者設定] にも表示されます。

ステータスモニタを有効にする

[ステータスモニタ]は、印刷時にお使いのパソコンのモニタに、プリントシステムの状況が表示されます。[拡張機能]タブには、[ステータスモニタ]ボタンが表示されます。

インストールが正常に終了したら、[終了]をクリックしてインストールウィザードを終了し、**[Product Library CD]**メニューに戻ります。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、次のメッセージが表示されます。

1つ以上のソフトウェアのインストールが失敗しました。

[完了] をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再び表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリンタのインストールが完了しました。必要に応じて、パソコンを再起動してください。

ネットワーク接続されたWindows VistaおよびWindows XPでのインストール

このセクションでは、ネットワーク接続されたWindows VistaまたはWindows XP上でドライバソフトウェアをカスタムインストールする手順について説明します。

1 お使いのプリンタとPCが、ネットワークに接続されていることを確認してください。

2 [インストール方法] ページで、[カスタムモード] を選択します。

3 [プリントシステムを検索] ページが開き、[検索] がオンになって表示されます。高速インストールを行うには、[検索]でプリントシステムを探して高速インストールの手順に従います。あるいは、[ユーザ選択]を選択して[次へ]をクリックし、カスタムインストールを続行できます。

4 [プリントシステム] ページでモデルを選択して、[次へ] をクリックします。

5 [プリンタポート]ページで、お使いのプリンタに接続されているポートを選択するか、[ポートの追加]をクリックしてシステムに接続されているポートを追加します。[次へ]をクリックします。

6 **[カスタムインストール]** ページで、**[ドライバ]** および **[ユーティリティ]** タブからインストールするドライバとソフトウェアパッケージを選択し、インストールしないものはオフにします。**[次へ]**をクリックします。

7 **[プリンタ設定]**ページで、プリンタに名前を付けることができます。また、このプリンタを他のユーザと共有したり、デフォルトのプリンタとして設定することも可能です。必要な項目を選択し、**[次へ]** をクリックします。

8 **[設定の確認]** ページで、設定内容が正しいことを確認し、**[インストール]** をクリックします。設定を訂正する場合は、**[戻る]** をクリックします。

参考: **[ハードウェアのインストール]**警告ダイアログボックスが表示された場合は、**[続行]**をクリックします。

9 **[インストールが完了しました]**画面が表示され、以下のドライバオプションが表示されます。

テストページを印刷

この機能をはプリンタとの接続状態を検証して、インストールされているドライバコンポーネントの一覧を印刷出力します。

簡単設定タブを表示する

この機能は、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義し、印刷時に簡単に呼び出して使用するを可能にします。**[簡単設定タブを表示する]** オプションは、**[デバイス設定]** タブの **[管理者設定]** にも表示されます。

ステータスモニタを有効にする

[ステータスモニタ]は、印刷時にお使いのパソコンのモニタに、プリントシステムの状況が表示されます。**[拡張機能]**タブには、**[ステータスモニタ]**ボタンが表示されます。

デバイス設定

[デバイス設定]を選択すると、**[デバイス設定]**タブが開き、プリンタに合わせてインストールされているオプションを選択することができます。(**[デバイス設定]**チェックボックスは、Windows XPでのみ表示されます。)

インストールが正常に終了したら、**[終了]**をクリックしてインストールウィザードを終了し、**[Product Library CD]**メニューに戻ります。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、次のメッセージが表示されます。

1つ以上のソフトウェアのインストールが失敗しました。

[完了] をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再び表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリンタのインストールが完了しました。必要に応じて、パソコンを再起動してください。

プリンタの追加コンポーネント

[Product Library CD] > **[拡張ツール]**メニューからオプションコンポーネントをインストールすることにより、プリンタドライバの機能を拡張することができます。

プリンタドライバオプションのインストール

1 **[Product Library CD]**メニューで、**[拡張ツール]**を選択します。

2 **[**拡張ツール**]**画面で、**[**プリンタドライバオプション**]**を選択します。

3 プリンタを選択し、**[**次へ**]**をクリックして追加コンポーネントをインストールします。

4 次のすべての**[**選択**]**画面でコンポーネントを選択し、**[**次へ**]**をクリックします。

5 **[**設定の確認**]**画面で、表示された設定内容が正しければ、**[**インストール**]**をクリックします。設定を訂正する場合は、**[**戻る**]**をクリックします。

6 **[**プリンタコンポーネントのインストールが完了しました。**]**画面が開きます。**[**終了**]**をクリックします。

プリンタと追加コンポーネントのインストールが完了した後、PC の再起動の指示が表示された場合は、PC を再起動してください。

プリンタの追加ウィザードでのインストール

[プリンタの追加**]**ウィザード**]** では、プリンタのインストール手順を、順を追ってウィザード形式で表示します。画面にしたがって選択や決定を行い、インストールを完了してください。

Windows Vistaでのインストール

このセクションでは、**[**プリンタの追加**]** ウィザードを使用して、Windows Vistaにプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

1 画面の下部にあるWindowsのタスクバーから、**[**スタート**]** アイコンをクリックします。

2 **[**スタート**]** ウィンドウで、**[**コントロールパネル**]** をクリックします。

3 **[**コントロールパネル**]**で、**[**プリンタ**]**をクリックします。

4 **[**プリンタ**]**ウィンドウのツールバーで、**[**プリンタの追加**]**をクリックします。

5 **[**プリンタの追加**]**ウィザード が開きます。ウィザードが指示する手順に従い、ドライバをインストールします。**[**ローカルプリンタの追加**]** または **[**ネットワーク、ワイヤレス、または**Bluetooth**プリンタの追加**]** のいずれかをクリックします。各ページの指示に従い、**[**次へ**]** をクリックして次のページに進みます。

参考: **[Windows** セキュリティ**]**警告ダイアログボックスが表示された場合は、**[**このドライバのインストールを継続する**]**をクリックします。

6 ウィザードの最後のページに、選択したプリンタが正常に追加されたというメッセージが表示されます。これで、プリンタドライバのインストールが完了しました。新たにインストールしたプリンタからテスト印刷を行いたい場合は、**[**テストページの印刷**]** をクリックします。[プリンタの追加]ウィザードを閉じるには、**[**完了**]** をクリックします。

Windows XPおよびWindows 2000でのインストール

このセクションでは、Windows XPまたはWindows 2000で、**[**プリンタの追加ウィザード**]** を使用してプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

1 Windowsのタスクバーの **[**スタート**]** をクリックして、**[**コントロールパネル**]** をクリックします。

2 Windows の **[**プリンタと **FAX]** をクリックして、Windows の **[**プリンタと **FAX]** ウィンドウを開きます。

3 左側のウィンドウ部分で、**[**プリンタのインストール**]** をクリックします。

参考**:** **[**プリンタの追加**]**は、Windows の**[**プリンタと **FAX]**ウィンドウの[ファイル]メニューから、**[**プリンタの追加**]**をクリックして開始することもできます。

4 **[**プリンタの追加ウィザード**]** が開きます。ウィザードの手順に従い、ドライバをインストールします。各ページの指示に従い、**[**次へ**]** をクリックして次のページに進みます。

参考**:** **[**新しいハードウェアの検出**]**ウィザード ページが開いた場合は、**[**キャンセル**]** をクリックします。**[**ハードウェアのインストール**]**警告ダイアログボックスが開いたら、**[**続行**]** をクリックします。

5 **[**プリンタの追加ウィザードの完了**]** ページが開くと、プリンタドライバのインストールは完了です。[プリンタの追加]ウィザードを閉じるには、**[**完了**]** をクリックします。指示された場合は、パソコンを再起動してください。

2 デバイス設定

[デバイス設定]タブでは、インストールされているプリンタのオプションを選択して、関連機能をプリンタドライバで利用できるようにすることができます。さらに、ドライバのメモリ設定をお使いのプリンタにインストールされたメモリと合わせることができるため、ドライバはフォントのダウンロードをより効率的に管理できるようになります。また、[管理者設定]、[ユーザ設定]、[PDL(ページ記述言語)]の設定、[互換性]設定も選択することが可能です。

これらの機能は、[デバイス設定] タブで使用できます。

デバイス設定タブの使用

[デバイス設定**]** タブは、**[**プリンタ**]**(Windows Vistaの場合)、またはWindows の**[**プリンタと **FAX]**(Windows XPの場合) フォルダから開きます。

1 **[**スタート**]**をクリックして、**[**コントロールパネル**]**を選択し、**[**プリンタ**]** (Windows Vistaの場合)、またはWindowsの**[**プリンタと**FAX]**(Windows XPの場合)をクリックします。

2 **[**プリンタ**]**アイコンを右クリックして、**[**プロパティ**]** をクリックします。

3 **[**デバイス設定**]** タブをクリックします。

デバイスオプション

オプション機器の追加を行うと、給紙や仕上げ、印刷ジョブの保存などで本体の機能を拡張することができます。

クライアント/サーバ環境では、制限ユーザとしてログインしたクライアントはこの機能を利用することができません。

オプションの設定

お使いのプリンタにインストールされているオプションに合うように、プリンタドライバを設定することができます。

1 **[**プリンタのプロパティ**]** ダイアログボックスで、**[**デバイス設定**]** タブをクリックします。

2 **[**デバイス設定**]** > **[**使用できるオプション**]** で、インストールされているすべてのオプションのチェックボックスをオンにします。

ユーザボックスの設定

印刷ジョブを保存するため最大1000個のユーザボックスを作成し、印刷ジョブを保存できます。ユーザユーザボックスは、後でプリントシステムの動作パネルからジョブを印刷できるユーザに割り当てることができます。

1 **[**デバイスの設定**]** タブで、**[**ハードディスク**]** をダブルクリックします。

2 **[**ハードディスク設定**]** ダイアログボックスで、**[**追加**]** をクリックします。

新しい **[**ユーザボックス番号**]** と **[**ボックス名**]** が **[**定義されたユーザボックス**]** リストに表示されます。

3 **[**定義されたユーザボックス**]** リストに、新しい **[**ボックス番号**]** と **[**ボックス名**]** が表示されます。必要に応じて、**[**ボックス番号**]** および **[**ボックス名**]** ボックスの番号および名前を変更します。番号は 1 から 1000 までの整数、名前は最大 32 文字以内である必要があります。また、ユーザ名は20文字以内で入力してください。

4 **[**共有ボックス**]** をオンにすると、複数のユーザでボックスを共有できます。

チェックボックスがオン: すべてのネットワークユーザがボックスにジョブを保存できます。印刷を開始する前にパスワードの入力を要求します。

チェックボックスがオフ: ボックスの所有者およびネットワーク管理者だけがボックスにジョブを保存できます。

5 印刷を開始する前にユーザに共有ボックスのパスワードを入力するよう求めるには、[パスワードの確認] をオンにして、最大 16 文字のパスワードを入力します。

6 [ハードディスク設定] および [プロパティ] ダイアログボックスで、**[OK]** をクリックします。

印刷中は [カスタムボックス] ダイアログボックスに新しいユーザボックスが表示されます。

- カスタムボックスを削除するには、[定義されたカスタムボックス] リストからボックスを選択して、[削除] をクリックします。
- カスタムボックスリストをインポートするには、[インポート] をクリックして有効なユーザボックスリストファイル (.CSV または .KXU) を参照します。
- [エクスポート] をクリックすると、コンピュータまたはネットワーク内の現在のカスタムボックスリスト (.CSV または .KXU) を保存できます。保存されたリストは他のプリンタドライバにインポートできます。

自動設定

自動設定は、プリンタがネットワーク経由で接続されている場合に、プリンタにインストールされているオプション機器を自動設定します。お使いのコンピュータがTCP/IPポート経由でプリンタに接続されている場合は、[デバイス設定] タブに [自動設定] ボタンが表示されます。[自動設定]ボタンを押すと、[デバイスのオプション] リストとプレビュー画像が更新され、プリンタシステムの設定をプリンタドライバに自動的に反映させます。

[自動設定]を使用しても、インストールされているすべてのオプション機器が自動設定されるわけではありません。設定内容が正しいことを確認してから、[デバイス設定] タブで **[OK]** をクリックします。

参考: Windows XP Service Pack 2では、Windowsのファイアウォールはデフォルトで オン に設定されています。プリンタとPC間の通信を許可するように、設定を変更することも可能です。Windowsの[セキュリティの警告] ダイアログボックスで、[禁止の解除]をクリックします。

サイレント自動設定

[サイレント自動設定] オプションをオンにすると、ドライバは10分おきにプリンタをチェックして、追加されたオプション機器やメモリに変更がないかどうかを確認します。変更が検出されると、ドライバは自動的に新しい設定に更新されます。[サイレント自動設定]は、プリントシステムのWindows Vista OSがネットワークに接続されている場合にのみ利用可能となります。

クライアント/サーバ環境では、制限ユーザとしてログインしたクライアントはこの機能を利用することができません。

自動設定の有効化

[自動設定] ボタンを使用すると、プリンタがTCP/IPポート経由でネットワークに接続されている場合に接続されているオプション機器を自動設定することができます。

1 各オプション機器がプリンタに正しく接続され、プリンタの電源がオンになっており、印刷する準備が整っていることを確認してください。

2 [デバイス設定] タブで、[自動設定] をクリックします。

Windows 2000およびWindows XPでは、ドライバの設定がただちに更新されます。

Windows Vistaでは、**[**自動設定**]** ダイアログボックスが開きます。[自動設定]オプションから選択します。

自動設定の開始

プリンタの現在の設定を取得するには、ボタンをクリックします。この操作は、ドライバを最初にインストールしたときや **[**サイレント自動設定**]** オプションがオフになっているときに行ってください。

サイレント自動設定

プリンタへのオプション機器やメモリの追加を、10分おきに自動的に確認するときに選択します。これらの変更が確認されると、ドライバ設定も自動的に更新されます。

メモリ

この機能は、プリンタのメモリ容量を表示します。

管理者設定

[管理者設定**]**では、ログインユーザ名および部門コード IDを指定し、**[**簡単設定**]**タブが表示され、カラーページ枚数および白黒モードを設定し、セキュリティのロック設定を選択し、**SNMP**設定を選択して、アクセスを制御するパスワードを設定します。

クライアント/サーバ環境では、制限されたユーザとしてログインしたクライアントはこの機能を利用することができません。

ユーザ管理

ログイン **ID** は、部署や部門ごとに権限を割り当てる部門コードとは対照的に、ユーザごとにジョブ制限を提供します。プリントシステムには最大1000 個のログインユーザ名とパスワードを登録することができ、プリンタドライバに保存されます。

ログイン **ID** は、ユーザ名とパスワードによってユーザを追加します。この機能は、印刷および課金を安全に行うため、指定されたユーザにのみ印刷を制限します。各ユーザが印刷したページ数はプリントシステムによって管理されます。

プリンタドライバに追加されたユーザは、プリントシステムの操作パネルにも手動で登録する必要があります。

ユーザ管理のオプション

ドライバで選択した ユーザ管理 の設定は、このコンピュータから送信されたすべての印刷ジョブに適用されます。次の項目が設定できます。

[特定のログインユーザ名を使用**]**

このオプションを使用すると、すべての印刷ジョブに対して同じ ログインユーザ を使用するため、ユーザ名とパスワードを指定できます。このオプションが選択されていると、ユーザは印刷ジョブごとにユーザ名とパスワードを入力する必要がありません。

[印刷時にログインユーザ名を入力**]**

印刷の際にユーザ名とパスワードの入力を求められます。リストにはない ログインユーザ名 を使用し、リストに名前を追加しないでおくこともできます。印刷の際に、プロンプトが表示されたら ログインユーザ名 と パスワード を入力し、**[OK]** をクリックすると印刷を開始します。

未登録のユーザ ID からも印刷を許可するようプリントシステムに設定されている場合は、未登録のログインユーザ名でも印刷できます。

[印刷時にログインユーザ名を入力**(**ログインユーザの確認**)]**

印刷の際に、ユーザに ユーザ名 と パスワード を入力するよう求めます。入力するユーザ名とパスワードは、ログインユーザ名リスト に登録されている必要がありま

す。ドライバの **[**登録ログインユーザリスト**]** に登録されている **[**ログインユーザ名**]** を使用できます。印刷の際に、プロンプトが表示されたら ログインユーザ名 と パスワード を入力し、**[OK]** をクリックすると印刷を開始します。印刷の際、選択された ログインユーザ名 がドライバに保存されていることが確認された場合にのみ、ジョブを印刷します。

[ユーザ**(**ホスト**)**毎にログインユーザ(デバイス)を確認**]**

印刷の際、**[**登録ログインユーザリスト**]** から **[**ログインユーザ名**]** を検索して、ログイン**ID** を使用することができます。

合致した ID が見つかると、その ログインユーザ名 を使用して印刷ジョブが実行されます。

合致した**ID**が見つからなかった場合、ドライバは管理者権限またはユーザ権限のチェックを行います。管理者権限を持つユーザは、ジョブを印刷するため ログインユーザ名 と パスワード を入力するよう求められます。ドライバは Windows の ログインユーザ名 を検索し、ログインユーザ名 と パスワード を一緒に、この名前をドライバの 登録ログインユーザ リストに追加します。ユーザ権限のみ持つユーザは、印刷ジョブはキャンセルされ、管理者に問い合わせて印刷権限を取得するよう促すメッセージが表示されます。

[登録ログインユーザリスト**]**

クリックして、ドライバの 登録ログインユーザ リストからログインユーザ名とパスワードを追加、削除、編集、インポート、またはエクスポートすることができます。登録ログインユーザ リストを作成すると、このリストをまとめて、テキストファイル(.CSV)にエキスポートして保存できます。登録ログインユーザ リストをインポートするには、保存されているテキストファイル(.csv)を選択し、プリンタドライバに読み込みます。

ユーザ管理を使用して印刷

ログインユーザ名が割り当てられ、プリントシステムでログインモードがオンに設定された後、ログイン**ID**を使用してユーザログインモードで印刷を実行できます。

1 **[**デバイス設定**]** タブで、**[**管理者設定**]** をクリックします。

2 **[**管理者設定**]**ダイアログボックスから、**[**ログイン**ID]**を選択します。

3 **[**ログイン**ID**］オプションを選択します。

[特定のログインユーザ名を使用**]**

[印刷時にログインユーザ名を入力**]**

[印刷時にログインユーザ名を入力**(**ログインユーザの確認**)]**

[ユーザ**(**ホスト**)**毎にログインユーザ(デバイス)を確認**]**

4 **[**ログインユーザ名リスト**]**を選択して作成し、**[**ログインユーザ名**]**リストを管理します。

5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

6 アプリケーションから文書を印刷します。

7 **[**基本設定**]**ダイアログボックスが表示されたら、**[**ログインユーザ名**]**と**[**パスワード**]**を入力または選択し、**[OK]**をクリックします。いくつかのオプションでログインが必要です。

部門管理

部門管理によって管理者はプリントシステムの使用を制御することができます。部門管理を使用して、ユーザあるいは部署に部門コード (識別番号) 、特定の部門コードを割り当てたり、あるいは印刷の際に必ず入力しなければならない部門コードを作成したりできます。部門コードを作成すると、プリントシステムの操作パネルから、特定のコードに関連付けられている印刷枚数を確認したり、部門コードごとに印刷枚数を制限できるようになります。部門コードは、最大8桁まで指定可能です。

参考: プリントシステムシステムで[部門管理]をオンにする必要があります。部門コードはプリンティングシステムに最大1000件まで割り当てることができ、プリンタドライバに保存されます。

部門管理オプション

部門管理では、次の設定が行えます。

特定のコードを使用

このオプションでは、部門コードを使用してユーザまたはグループの印刷ジョブを管理します。各印刷ジョブごとに部門コードが送信されます。管理者は、[管理者設定] ダイアログボックスで [管理者設定を保護する] をオンにしてユーザあるいはグループが部門コードを変更しないように制限できます。

印刷時にコードを入力

このオプションでは、部門コード を入力するよう求めるだけでなく、部門コードを使用してユーザまたはグループの印刷ジョブを管理します。印刷ジョブが送信されるとき、ユーザは部門コード ID を入力するよう求められます。

印刷時にコードを入力(コードリストの確認)

このオプションでは、ドライバに保存された部門コードを指定するよう求められます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたら部門コードを入力し、**[OK]** をクリックして印刷します。部門コードは、部門コードリストと照合されます。入力を間違えた場合は、もう一度部門コードを入力するよう求められます。

印刷時にコードリストから選択

このオプションでは、印刷時に部門コードリストを表示します。ユーザまたはグループに印刷ジョブを割り当てることができます。部門コードはドライバに保存され、リストを表示するには1 つ以上の ID を作成しておく必要があります。

登録コードリスト

このオプションでは、部門コードを表示して、部門コードリストを管理します。ドライバに保存されているリストの部門コードを追加、編集、または削除できます。部門コードの説明は、部門コードによってユーザまたはグループと照合されます。このリストをまとめて、テキストファイル(.CSV)にエキスポートして保存できます。保存されているテキストファイル(.csv)を選択し、プリンタドライバに読み込みます。

部門コードでの印刷

部門コードを割り当てて、デバイスで部門管理を [オン] に設定すると、印刷したページ数が選択した部門コードの合計数に加算されます。

1 [デバイス設定] タブで、[管理者設定] をクリックします。

2 [管理者設定] ダイアログボックスから、[部門管理] を選択します。

3 次の 部門管理 オプションを選択します。

特定のコードを使用

印刷時にコードを入力

印刷時にコード゛を入力（コードリストの確認）

印刷時にコードリストから選択

4 **[**登録コードリスト**]** を選択して、登録コードリストを作成、管理します。

5 ダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

6 アプリケーションから文書を印刷します。

7 オプションによっては、**[**印刷オプション**]** ダイアログボックスが開くので、登録コードリストを選択して、**[OK]** をクリックします。

簡単設定タブを表示する

このオプションでは、**[**簡単設定**]** タブを表示するかを選択できます。基本的な印刷設定をプロファイルに設定しておくと、簡単に早く印刷を行えます。

- **[**簡単設定タブを表示する**]** チェックボックスをオフにすると、**[**印刷設定**]** ダイアログボックスにタブは表示されません。
- **[**簡単設定タブを表示する**]** チェックボックスをオンにすると、**[**印刷設定**]** ダイアログボックスにタブが表示されます。**[**簡単設定タブを表示する**]** チェックボックスをオンにした場合、他の 2 つのチェックボックス、**[**簡単設定タブ以外を隠す**]** および **[**初期画面を簡単設定タブにする**]** の設定も行えます。
  - **[**印刷設定**]** を開いたときに、**[**簡単設定**]** タブが初期画面として開くように設定します。
  - **[**簡単設定**]** タブ 以外のタブを非表示にして、**[**簡単設定**]** タブのみの表示に設定します。

カラーページカウント

カラーページ計算機能は、プリントジョブごとにカラーページおよび白黒ページの枚数を記録します。課金あるいは部門管理アプリケーションで、この追跡機能を使用することができます。別売りの会計ソフトを使用することにより、各ページに埋め込まれた印刷情報を読み取ったり、処理することができます。

次の方法によって出力を追跡します。

- 黒以外の色が使われているページは、カラーページとみなされます。
- 黒しか使われていないページは、白黒ページとして計算されます。
- 何も印刷されていないページは、白黒ページとみなされます。

カラーページカウント機能

カラーページ計算機能は、プリントジョブごとにカラーページおよび白黒ページの枚数を記録します。文書内にそのカウント情報を埋め込みます。

1 **[**デバイス設定**]** タブで、**[**管理者設定**]** をクリックします。

2 [カラーページカウント] を選択します。

白黒モード

[白黒モード**]**は、ドライバの**[**画像**]**タブのすべての色設定を無効にして、黒トナーだけで印刷します。

この機能を有効にするには、**[**デバイス設定**]**タブをクリックし、**[**管理者**]** > **[**白黒モード**]** をクリックします。

セキュリティ設定のロック

[セキュリティウォーターマーク]プラグインがインストールされている場合は、[管理者設定]ダイアログボックスに[セキュリティウォーターマークのロック]項目が表示されます。この機能をロックすることにより、管理者はセキュリティウォーターマークをすべてのジョブに印刷することができます。

管理者パスワード

[管理者設定] ダイアログボックスで [設定を保護する] をオンにし、このダイアログボックスに対して不正な変更が行われるのを防ぎます。この設定をオンにすると、管理者設定ダイアログボックスを開く際に、パスワードの入力が必要になります。これにより、ユーザ**ID**、部門コード、簡単設定タブを表示する、および白黒モード、**SNMP**設定へのアクセスを制限します。

管理者パスワードの設定

1 **[**デバイス設定**]** > **[**管理者設定**]** から、**[**設定を保護する**]** を選択します。

2 **[**パスワード設定**]** ボックスに4～16文字のパスワードを入力します。**[**新しいパスワードの確認**]** にパスワードを再入力して、**[OK]**をクリックします。

管理者パスワードのクリア

1 **[**デバイス設定**]** タブで、**[**管理者設定**]** をクリックします。

2 **[**パスワード入力**]** ダイアログボックスで、パスワードを入力し **[OK]** をクリックします。

3 **[**管理者設定**]** ダイアログボックスで、**[**設定を保護する**]** チェックボックスをオフにします。

4 **[OK]** をクリックします。

SNMP

簡易ネットワーク管理プロトコル(**SNMP**)は、プリンティングシステムなどネットワークデバイス管理を制御するルールセットです。**SNMP** に設定すると、自動設定 機能を利用する際のセキュリティレベルが決定され、認証されていない印刷が **SNMPv3** デバイスに送信されることを防ぎます。プリンタドライバおよびデバイスのCOMMAND CENTERでは、**SNMP** に設定する必要があります。

使用可能な **SNMP** オプションは、次のとおりです。

SNMPv1/v2c

このオプションを使用すると、**[**リードコミュニティ名**]** と **[**ライトコミュニティ名**]** を使用して、正常な **[**自動設定**]** 通信を行うことができます。

SNMPv3

このオプションを使用すると、ユーザ名とパスワードを使用して、正常な **[**自動設定**]** 通信を行うことができます。**[**設定**]** を選択すると、認証オプションやプライバシーオプションが利用できるようになります。

設定を他の機種に反映

設置したデバイスのリストから、選択した **SNMP** 設定を適用することができます。

SNMPv3オプション

[SNMPv3]オプションを選択すると、印刷システムとの接続に信頼性を高めることができます。

認証

このオプションは、転送されたファイルが完全な状態で到達したかどうかをチェックするアルゴリズムを実行します。Message Digest 5 (**MD5**)およびSecure Hash Algorithm 1 (**SHA1**)は、パケットデータの認証に用いられるアルゴリズムです。

MD5

このオプションは、128ビットのハッシュ値を生成する暗号化用ハッシュ関数を実行します。このオプションを実行することにより、ゲートウェイロードバランシングプロトコル(GLBP)のなりすましソフトウェアに対抗できるセキュリティと保護機能を強化することができます。

SHA1

このオプションは、160ビット長のメッセージダイジェストを生成します。**SHA1**は、**MD5**の後継アルゴリズムです。

プライバシー

このオプションでは、接続の信頼性を高めるために暗号化が使用されます。このオプションは、**[**認証**]**オプションを選択すると使用できるようになります。プライバシーオプションを1つ選択してください。

DES

このオプションでは、暗号化技術としてData Encryption Standardが使用されます。**DES**は、暗号化アルゴリズムを使用して平文を暗号文に変換します。暗号化と復号化には、8バイト長のブロックと56ビット長の鍵が使用されます。

AES

このオプションでは、暗号化技術としてAdvanced Encryption Standardが使用されます。**AES**は、対称的に構成されたブロックによる暗号文で、128、192、256ビット長の暗号鍵を使用して128ビットのデータブロックを処理することができます。この方法は、**DES**よりも安全性が高くなります。

SNMP設定の選択

ドライバの**SNMP** 設定はプリントシステムのコマンドセンタの設定に一致させる必要があります。

1. **[**デバイス設定**]** > **[**管理者設定**]**で、**[SNMP**設定**]**をクリックします。
2. **[SNMPv1/v2c]**または**[SNMPv3]**を選択します。

   SNMPv1/v2c の場合は、最大32文字で **[**リードコミュニティ名**]** と **[**ライトコミュニティ名**]** を入力して、**[OK]**をクリックします。

   SNMPv3 の場合は、最大32文字の **[**ユーザ名**]** 、8文字から32文字までの **[**パスワード**]** を入力します。
3. **SNMPv3** に認証とプライバシーを設定するには、**[**設定**]**をクリックします。
4. **[SNMPv3]** ダイアログボックスで、使用できるオプションの中から選択します。
5. **[SNMPv3**設定**]** ダイアログボックスで、**[OK]** をクリックします。
6. **[**設定を他の機種に反映**]**をクリックして、利用可能なモデルの中から選択します。
   SNMP の設定が、選択したすべてのモデルに適用されます。

ユーザ設定

[ユーザ設定**]** を使用すると、ユーザ名や部署・部門名の指定、デフォルトの単位の選択を行うことができます。

クライアント/サーバ環境では、制限されたユーザとしてログインしたクライアントは、この機能を利用することができません。

ユーザ登録

ﾕｰｻﾞ 登録では、最大31文字のﾕｰｻﾞ 名と部署・部門名を使用して、印刷ジョブを識別できます。ユーザ名は、ハードディスクに保存されている印刷ジョブの識別に使用することができます。

ユーザ登録情報の設定

ユーザ名と部署・部門名情報を入力することで、ジョブ管理**(e-MPS)**機能に使用することができます。

1 **[**デバイス設定**]** **>[[**ユーザ**]**から、**[**ユーザ名**]**テキストボックスに指定する名前を入力します。

2 **[**部署・部門名**]**テキストボックスに、部署・部門名またはグループ名を入力します。

[ユーザ名**]**および**[**部署・部門名**]**テキストボックスには、最大31文字まで入力することができます。

単位

単位には、**[**インチ**]** または **[**ミリ**]** のいずれかを設定することができます。これは、次の設定に使用されます。

- **[**基本設定**]**タブの **[**原稿サイズ**]** ダイアログボックスにある **[**カスタム用紙サイズ**]** の設定。
- **[**拡張機能**]**タブの **[**ウォーターマークの追加**]** および **[**編集**]**ダイアログボックスにある **[**間隔**]** の設定。
- **[**レイアウト**]**タブの**[**ポスター印刷**]**設定および**[**とじしろ**]**設定。

単位の選択

ユーザインタフェースで長さを表示する際の単位を選択することができます。

1 **[**デバイス設定**]** タブで、**[**ユーザ設定**]** をクリックします。

2 **[**インチ**]** または **[**ミリ**]** のいずれかを選択します。

PDL (ページ記述言語)

PDLでは、印刷されるページのコンテンツおよびレイアウトを指定します。**[**デバイス設定**]**タブで、**[PCL XL**、(Printer Command Language XL)、**PCL 5c**、**KPDL**(PostScript印刷のエミュレーション)、**PDF**(ポータブルドキュメントフォーマット)の中から選択することができます。お使いのアプリケーションで、XML Print Specificationがサポートされている場合は、**XPS**ドライバをインストールすると印刷が行えます。**XPS**ドライバをインストールした場合は、**PDL**オプションは**XPS**しか選択できません。　イバのPDLオプションはXPSのみ選択できます。プリンタのデフォルトは、ほとんどの印刷に最適な**PCL XL**です。**PDL** を選択すると、**[**プレビュー画面**]** の下に選択中のPDLが表示されます。

[GDI 互換モード**]** では、ベクトルグラフィックはビットマップイメージとして印刷するためにラスタライズされます。**[GDI** 互換モード**]** オプションを使用すると、アプリケーションで作成したグラフィックの出力クオリティを向上させることができます。

参考**:** PDL選択のリストに**PDF**を追加するには、**[PDF**作成**]**プラグインをインストールする必要があります。

クライアント/サーバ環境では、制限されたユーザとしてログインしたクライアントはこの機能を利用することができません。

PDLオプション

[デバイス設定**]**タブから開くことのできる**[PDL**設定**]**ダイアログボックスで指定可能なPDLオプションは次のとおりです。

PCL XL

HP PCLとPCL 6の最新バージョンです。このPDLには、PCL 5cの機能が含まれています。PCL XLには、PCLの旧バージョンとの下位互換性がありませんが、次の点において、PCL 5cの機能よりも強化されています。

- ファイルサイズの圧縮
- 印刷速度の高速化
- アプリケーションに戻る速度の高速化

PCL 5c

- PCLの旧バージョンとの完全な互換性
- 双方向通信のサポート
- Microsoft Windowsのアプリケーションで使用できるフォントの種類の拡大
- 複雑なグラフィックの印刷ができない場合があります。

KPDL

PostScript 2または3がサポートされているアプリケーションから印刷する場合は、KPDLを使用します。

- PostScript印刷のエミュレーション
- グラフィックのレンダリング機能の強化
- 印刷速度は、PCL 5cよりも遅くなる場合があります。
- PCL 5cよりも大きなデバイスメモリ容量が必要です。
- TrueTypeフォントのダウンロードが可能です。
- 多彩なグラフィック設定オプションをサポートしています。

PDF

[PDF作成**]**は、さまざまなデータ元から文書をAdobe PDF形式に印刷または保存できるプラグインです。PDF形式は、文書の作成に使われたオペレーティングシステムやアプリケーションソフトウェアに依存しません。

参考**:** PDLとして選択されたPDFでは、一部のドライバオプションしか利用できません。

- PDF文書を作成する際に、既存の商用アプリケーションの代わりとしてお使いください。

- PDF形式で保存された文書は、元の文書の見ばえをそのまま保持し、Windows、Mac OS、UNIX上で動作する無料のAdobe Readerを使って閲覧、印刷することができます。
- PDLとして選択されたPDFでは、一部のドライバオプションしか利用できません。

PDLオプションの選択

PDLオプションから、ページ記述言語を選択することができます。

1 **[**デバイス設定**] > [PDL]**で、**[PDL**設定**]**リストから指定するページ記述言語を選択します。

2 **[GDI** 互換モード**]**オプションを選択すると、自分のアプリケーションで作成したグラフィックの出力クオリティを向上させることができます。

3 **PDL**が**KPDL**または**PDF**に設定されていると、**[**詳細設定**]**を使用することができます。

PDLに**KPDL**を選択すると、**[**詳細設定**]**をクリックして、**[KPDL**詳細設定**]**ダイアログボックスを開くことができます。**[**パススルーモード**]** チェックボックスをオンにすると、PostScript形式を使用するアプリケーションから複雑なジョブを印刷する際のエラーをなくすことができます。

ただし、**[**パススルーモード**]**を選択した場合、**[**詳細設定**]**タブの**[EMF**スプール**]**を使用することはできません。

PDLに**PDF**を選択すると、**[**詳細設定**]**をクリックして、**[PDF**の設定**]**ダイアログボックスを開くことができます。

4 **[PDL**設定**]**ダイアログボックスで、**[OK]**をクリックします。

PDFオプション

[PDF作成**]**プラグインをインストールした場合は、**[PDF]**オプションを選択することができます。

[PDFの設定**]**ダイアログボックスには、次のオプションがあります。

PDFの設定

フォントを埋め込む

このオプションを使用すると、文書のフォントは**PDF**ファイルで設定されたとおりに画面に表示されます。このオプションを使用すれば、ファイルの内容を正確に再現することができますが、ファイルサイズが非常に大きくなってしまいます。

データを圧縮する

このオプションを使用すると、**PDF**文書を圧縮することができます。また、ファイルサイズは飛躍的に小さくなります。Adobe Acrobatでは、その他の圧縮オプションも利用することができます。

セキュリティ

このオプションを使用すると、**PDF**文書に暗号化を適用することができます。他の**[**セキュリティ**]**設定については、**[**設定**]**をクリックしてください。詳細については、次のセクションを参照してください。

ファイルに保存する

このオプションを使用すると、文書をPDFファイルとして印刷および保存できます。その他の**[**ファイルに保存する**]**の設定については、**[**設定**]**をクリックしてください。

セキュリティ設定

このオプションを使用すると、暗号化レベルを選択し、生成された**PDF**ファイルのパスワードを作成することができます。

使用できるセキュリティオプションは、次のとおりです。

暗号化

暗号化によりパスワード保護をかけることができるため、許可されていないユーザが文書を開いたり、変更することは不可能となります。

40ビット

この暗号化オプションによって、PDF文書に低レベルのセキュリティをかけることができます。このオプションは、Adobe Acrobatの旧バージョン、およびAdobe Reader 3.0 - 4.xでサポートされています。

128ビット

この暗号化オプションによって、PDF文書に高レベルのセキュリティをかけることができます。このオプションは、Adobe Acrobat、およびAdobe Reader 5.0以降のバージョンでサポートされています。

パスワード

セキュリティ設定を変更したり、文書を開く場合は、パスワードを選択します。パスワードには、最大16文字まで設定することができます。

セキュリティィ設定を変更するためのパスワードを要求する

オーナーパスワードを入力します。Adobe Acrobatでは、**[**ファイル**]** > **[**プロパティ**]** > **[**セキュリティ**]**セクションで文書の制限を変更する際に、このパスワードが必要です。

ドキュメントを開くためのパスワードを要求する

ユーザ パスワードを入力します。PDF文書を開く際は、ユーザパスワードを入力する必要があります。このパスワードは、ユーザパスワードとは異なるものに設定しなければなりません。

ファイルへの保存を設定

このオプションを使用すると、文書をPDFファイルとして印刷および保存できます。

ファイルに保存する

PDFファイルが作成され、ローカルに保存されます。

ファイルに保存**+**印刷

PDFファイルが、ローカルに保存され、印刷用に送信されます。

これら2つのオプションを選択した後、次のオプションを選択できます。

既定のファイルに自動保存

PDFファイルは再び使用できるようにするためデフォルトファイルとして自動保存されます。

次のオプションから選択してください。

デフォルトのファイル名を置き換える

このオプションでは、デフォルトのファイル名を変更します。

デフォルトファイル名 **+** 日付と時間を使用

このオプションでは、デフォルトのファイル名を使用し、文書が保存されるたびに日付と時間のタイムスタンプを追加します。

規定のファイルディレクトリ

このオプションでは、PDFファイルを保存する場所を参照します。

PDFの印刷と保存

[PDF作成] プラグインをインストールした場合は、文書を印刷して、それをAdobe PDFに保存することができます。

1. コントロールパネルの **[プリンタ]** フォルダを開きます。
2. 目的のプリントシステムモデルを右クリックします。
3. **[プロパティ]** をクリックして、**[デバイス設定]** タブをクリックします。
4. **[PDL]** をクリックします。
5. **[PDL設定]** ダイアログボックスの **[PDL選択]** リストから、**[PDF]** を選択します。
6. **[詳細設定]** をクリックします。
7. **[PDF の設定]** ダイアログボックスで、**[ファイルに保存する]** を選択します。
8. **[設定]** をクリックし、印刷と保存オプションから選択します。詳細については、**PDF**オプション を参照してください。
9. すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
10. 文書を開いて印刷します。
11. **PDF** ファイルに名前を付けて、保存します。

Windows Vista XPSのドライバについて

XML Paper Specification (**XPS**)ページ記述言語では、最も効率良く文書の表示や処理を行うことができます。**PDL**と文書形式のどちらとしても、**XPS**は、互換性のあるプリンタ機器とWindows Presentation Foundation(WPF)アーキテクチャ向けに書かれたソフトウェアが必要となります。**PCL**および**KPDL**は、**XPS**環境と互換性がありません。そのため、**XPS**ドライバは、**PDL**設定の**XPS**しかサポートしていません。**XPS** ドライバは、**Product Library CD**からインストールできます。インストール方法の画面からカスタムモードを選択し、ドライバの選択画面で**KX XPS DRIVER** を選択します。

GDI 互換モード、**PDF**、**CIE** 最適化、およびフォントは、**XPS**ドライバでは使用できません。

XPS文書のファイルを表示するには、Microsoft XPSビューアをダウンロードして、インストールする必要があります。

互換性設定

[互換性設定]では、給紙元の値を指定したり、フェイスアップ出力時の逆順出力を無効にしたり、プリンタドライバからの部単位設定を優先したり、**[基本設定]** タブで**[給紙元]**および**[用紙種類]**リストを統合することができます。

クライアント/サーバ環境では、制限されたユーザとしてログインしたクライアントは、この機能を利用することができません。

給紙方法の設定

[給紙方法の設定**]** は、カセットやフィーダ用の値など、プリンタドライバに固有の給紙値との互換性をサポートします。新しくプリンタドライバをインストールした場合でも、それがこのドライバ用であるか、他のメーカのものかに関わらず、交換したドライバと同じ給紙サポートを維持します。古いドライバに給紙のマクロが残っていても、給紙値の調整が維持されるため、マクロを変更する必要はありません。

給紙の設定

Product Library CD の中の ドライバ情報 ユーティリティ (\Utility\Driver Info\DrvInfo.exe)を使用して、インストールされているすべてのドライバの給紙値を比較できます。

プリンタドライバ間で指定された給紙元が異なる場合、設定値を割り当て直してドライバ間で一致するようにできます。

1 [デバイス設定]タブで、[互換性]を選択します。

2 **[**給紙方法の設定**]** リストから、用紙の供給方法を選択します。現在の値は、**[**設定値**]** ボックスに表示されています。

3 **[**設定値**]** に値を入力して、**[**適用**]** をクリックします。異なるドライバの設定を同じにするため、この値は他のドライバの値と揃えておく必要があります。

[互換性設定**]** のすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**[**リセット**]** をクリックします。

フェイスアップ出力時に逆順出力しない

[フェイスアップ出力時の逆順出力の無効**]** をオンにすると、フェイスアップジョブでは1ページ目を一番下に、そして最終ページを一番上に印刷します。

このチェックボックスをオンにすると、フェイスアップ出力時の逆順印刷は無効です。

このチェックボックスをオフにすると、フェイスアップ出力時の逆順印刷は有効です。

ドライバの部単位設定を優先する

このオプションは、ソフトウェアアプリケーションの **[**部単位印刷**]** 設定を無視し、プリンタドライバの設定を優先させます。

- チェックボックスをオンにすると、プリンタドライバの **[**部単位印刷**]** 設定が使用されます。
- チェックボックスをオフにすると、アプリケーションの **[**部単位印刷**]** 設定は無効です。

プリンタドライバの部単位印刷の選択

アプリケーションの部単位設定の設定を無視して、プリンタドライバの部単位設定の設定を使用することができます。

1 **[**デバイス設定**]** タブで、**[**互換性**]** を選択します。

2 **[**ドライバの部単位設定を優先する**]** を選択します。

[互換性設定**]** のすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**[**リセット**]** をクリックします。

給紙元リストにメディアタイプも表示する

ドライバの **[**基本設定**]** タブを変更して、用紙種類 と 給紙元 を 給紙元 という名前の1つのリストに統合することができます。統合したリストでは、最初に用紙種類が表示され、次にカセットとMPトレイが続いて表示されます。

統合された給紙元リストの作成

[基本設定**]** タブで、給紙元 リストと 用紙種類 リストを統合させて、1つの 給紙元 リストにすることができます。

1 **[**デバイス設定**]** タブで、**[**互換性**]** を選択します。

2 **[**給紙元リストにメディアタイプも表示する**]** を選択します。

[互換性設定**]** のすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**[**リセット**]** をクリックします。

3 簡単設定

[簡単設定]タブでは、印刷ジョブに基本的な印刷設定を適用することができます。[簡単設定] の設定はプロファイルと呼ばれるグループとして保存し、すべての印刷ジョブに適用できます。プロファイルでは一般的な印刷タスクがサポートされています。

[簡単設定] タブを表示するかどうかは、インストール処理中、または[プロパティ] の[管理者設定]で管理者が設定できます。

これらの機能は[簡単設定]タブで使用できます。

簡単設定オプション

[簡単設定] タブでは1つまたは複数のオプションを設定できます よく使う印刷作業を、事前に定義した設定と登録されたプロファイルを選択して印刷を行えます。

よく使われる機能の設定

[簡単設定] タブの上には、印刷ジョブでもっともよく使われるアイコンがいくつか表示されています。[簡単設定]内のアイコン およびチェックボックスをクリックすると、印刷ジョブの設定を変更できます。設定できる機能のいくつかは、[一般]、[レイアウト]、および[印刷品質]タブにも表示されます。最後に選択したタブが他の関連するタブでも表示されています。

印刷の向き

このアイコンは、印刷方向の縦と横を切り替えます。必要に応じて、**[180°回転]** をオンにすると印刷ページの向きが180度変更されます。

カラーモード

このアイコンは、カラー印刷と白黒印刷を切り替えることができます。[エコプリント]をオンにすると、印刷ジョブのテキストおよびグラフィックス全体が薄めに表示されます。エコプリントは、印刷速度には影響がありません。

部単位印刷

このアイコンは、印刷ページの順番を変更できます。印刷するページが、123、123、123、または111、222、333のどちらの順番にするかを選べます。このオプションを選択して印刷するページの順番を逆順印刷することもできます。(逆順印刷は、[基本設定]タブの[排紙先]でプリンタの設定が選択されていない場合に使用できます。逆順印刷を無効にするには、[デバイス設定] > [互換性設定]から設定できます。)

両面印刷

このアイコンでは、長辺とじの両面印刷、短辺とじの両面印刷、または両面印刷をしないを切り替えることができます。

ページ集約

このアイコンは、1枚に印刷するページ数を1、2、4 から選択できます。1枚に4枚ページ以上印刷する場合は、[レイアウト] > [ページ集約] で設定します。

標準印刷オプションは[標準に戻す]で、[簡単設定]タブの初期設定状態に戻せます。このボタンは、アプリケーションの [印刷] ダイアログボックスからアクセスした場合にのみ表示されます。

次のセクションでは、[簡単設定]タブの設定項目について詳しく説明します。カラーモードは、[基本設定]および[印刷品質]タブにも表示されます。[印刷の向き]、[部単位印刷]および[両面印刷]は、[基本設定]タブにも表示されます。[ページ集約]は[レイアウト]タブでも表示されます。[プロファイル設定]機能は、[印刷設定]からアクセスできます。

カラーモード

[カラーモード]では、フルカラー印刷 (CMYK) または黒色トナーだけの印刷を選択できます。選択がカラーで表示されると、ドライバのすべてのカラー設定が有効化されます。[デバイス設定]>[管理者設定]>[白黒モード]で、[白黒] が選択されている場合、カラーを選択することはできません。

部単位印刷

部単位印刷 は、複数部印刷ジョブでページが印刷される順番を指定します。部単位印刷 を選択すると、最初に印刷ジョブのデータがプリントシステムに送信され、ページ画像としてプリントシステムのメモリにレンダリングされます。残りのジョブのコピーは、保存されたデータから印刷します。これにより、すべてのコピーをコンピュータからプリントシステムに送信しようとする追加プロセスの発生を防ぐことができます。

部単位印刷 が選択されると、ドライバはジョブ一式を1冊ごとに印刷します。部単位印刷 がクリアされると、ドライバは各ページごとに部数分印刷します。たとえば、部単位印刷 を選択し、5 ページの原稿を 3 部出力する場合、1 ページから 5 ページまで連続して、3 回印刷します。

両面印刷

両面印刷は、用紙の両面に印刷します。[両面印刷]をオンにして両面印刷を有効にします。両面印刷が選択されていないと、プリンタは用紙の片面にだけ印刷します。プリントシステムには、用紙を裏返すことによって裏面への印刷を可能にする両面ユニットが搭載されています。表紙と裏表紙の両面に印刷しページを挿入するには[両面印刷] を有効にしておく必要があります。

長辺とじ

冊子の横でページをとじるように、用紙の長辺をとじて中身を表示する場合に選択してください。

短辺とじ

冊子の上部でページをとじるように、用紙の短辺をとじて中身を表示する場合に選択してください。

ページ集約

ページ集約は、文書のレビューや用紙節約などの目的で 1 枚の用紙に複数ページ印刷します。用紙 1 枚あたりに印刷されるページ数が増えるため、読みやすさは低減します。各ページの境界線を印刷するなどのページの調整も設定できます。

プロファイルオプション

[プロファイル**]** セクションで、ジョブを印刷するのに使用できるプロファイルを選択します。また、事前定義されたプロファイルから選択したり、独自のプロファイルを作成して、これをインポートすることもできます。アイコンを再調整して、プロファイルを編集したり削除することもできます。

プロファイルの選択

[簡単設定**]**タブの下部にある**[**プロファイル設定**]**ボタンには常にドライバオプションをデフォルト設定に戻す**[**初期設定**]**プロファイルが含まれています。プロファイルには、プリンタのインストールウィザードから追加コンポーネントとしてインストールされた共通プロファイルと作成された任意のカスタムプロファイルを含めることができます。初期設定と管理者プロファイルは変更できません。

1 **[**プロファイル設定**]** をクリックします。

2 **[**プロファイル**]**ダイアログボックスで、プロファイルを選択します。

3 **[**適用**]** をクリックします。

   サイドパネルにはそのプロファイルの、主なオプションが表示されます。事前定義されたプロファイルに **[**簡単設定**]** オプションが提供されていない場合、**[**簡単設定**]** アイコンは使用できません。

4 [OK] をクリックします。

プロファイルの追加

[追加**]** ボタンを使用して独自のプロファイルを作成することができます。プロファイルには、ドライバの現在の設定がすべて含まれます。プロファイルを使用すると、すべての設定を再選択する必要がなくなり、同じタイプの印刷ジョブを繰り返し印刷することができます。**[**プロファイル設定**]** ボタンは、**[**印刷設定**]** の下のすべてのタブの下部に表示されます。

1 **[**印刷設定**]** を開き、すべての設定を行い、印刷ジョブ用の印刷オプションを設定します。

2 **[**プロファイル設定**] > [**追加**]** をクリックします。

3 プロファイルを識別するため、名称を入力し、アイコンを選択して、コメントを入力します。

4 **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

   新しく追加されたプロファイルが、**[**プロファイル設定**]**ダイアログボックスに表示されます。

5 **[適用]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで有効にするか、または **[OK]** をクリックしてプロファイルを追加します。

参考: プリンタドライバをデフォルト設定にリセットするには、初期設定 プロファイルを選択し、**[適用]** をクリックします。プロファイルの設定は消去され、初期設定に戻ります。

プロファイルの編集

[編集] ボタンを使用して既存のプロファイルを変更できます。**[初期設定]** オプションは編集できません。

1 **[プロファイル設定]** をクリックします。

2 **[プロファイルの選択]** セクションで、編集するプロファイルを強調表示し、**[編集]** をクリックします。

3 [名称]、[アイコン] 、および[コメント] の3つのオプションは編集できます。**[OK]** をクリックして編集した変更を保存します。

新しく編集されたプロファイルが、**[プロファイル設定]**ダイアログボックスに表示されます。

4 **[適用]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで有効にするか、または **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

プロファイルの削除

[削除] ボタンを使用して、既存のプロファイルを削除できます。初期設定 プロファイルは削除できません。

1 **[プロファイル設定]** をクリックします。

2 **[プロファイルの選択]** セクションで、削除するプロファイルを強調表示し、**[削除]** をクリックします。

3 プロファイルの削除を確認するメッセージが表示されます。**[はい]** をクリックして削除します。

4 **[OK]** をクリックして **[プロファイル設定]** ダイアログボックスを閉じます。

プロファイルのインポート

[インポート] ボタンを使用して、プロファイルのコピーを他のプリンタドライバからお使いのプリンタドライバにインポートできます。

1 **[プロファイル設定]** > **[インポート]** の順にクリックします。

2 既存のプロファイル (.KXP) を参照して選択し、**[開く]** をクリックします。

インポートされたファイルの中に、既存のドライバでは使用できないプロファイル設定が含まれている場合はメッセージが表示されます。プロファイルをインポートするには **[はい]** 、インポートをキャンセルするには **[いいえ]** をクリックします。

3 前の手順で **[**はい**]** を選択した場合、**[**プロファイル**]**ダイアログボックスに新しくインポートされたファイルが表示されます。

4 **[**適用**]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで有効にするか、または **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

プロファイルのエクスポート

[エクスポート**]** ボタンを使用して、プロファイルのコピーをお使いのプリンタドライバから他のプリンタドライバにエクスポートできます。(**[**初期設定**]**オプションは編集できません。)

1 **[**プロファイル設定**]**をクリックします。

2 **[**プロファイルの選択**]**セクションで、エクスポートするプロファイルを選択し、**[**エクスポート**]**をクリックします。

3 **[**プロファイルのエクスポート**]**ダイアログボックスが表示されます。プロファイルに名前を付けて保存します。

4 **[OK]** をクリックして **[**プロファイル設定**]** ダイアログボックスを閉じます。

4　基本設定

[基本設定]タブでは、よく使うプリンタドライバの機能を設定しておくことができます。

これらの機能は[基本設定]タブで使用できます。

プリンタドライバの設定について

プリンタドライバの設定は、アプリケーションの [印刷] ダイアログボックスまたは [コントロールパネル] からアクセスできます。アプリケーションからアクセスする場合、ドライバ設定への変更はアプリケーションが終了するまで有効です。[コントロールパネル] からアクセスする場合、変更はデフォルトのプリンタ設定として保持されます。

デフォルトのドライバ設定の変更

[標準に戻す]ボタンは、アプリケーションの[印刷]ダイアログボックスにある[設定]または[プロパティ]にアクセスした場合にのみ使用することができます。デフォルトのドライバ設定は、すべてのアプリケーションから送信された印刷ジョブに適用されますが、各アプリケーションで設定が変更された場合は、その設定が優先されます。

1 [スタート]、[コントロールパネル]の順にクリックし、[プリンタ] (Windows Vistaの場合)、またはWindowsの[プリンタと**FAX**] (Windows XPの場合)をクリックします。

2 お使いのプリントシステムのアイコンを右クリックします。

3 **[印刷設定]** をクリックします。ここで設定した内容はデフォルトとして設定されます。

用紙の基本設定

[基本設定]タブでは、基本的な印刷操作の設定を行うことができます。

出力用紙サイズ

この設定では、デバイスの実際の用紙サイズには関係なく、プリンタが印刷する領域のサイズを設定します。

給紙元

この設定は、用紙が給紙されるカセットまたはトレイを指定します。カスタム用紙サイズを使用している場合以外は、**[自動選択]** のままにすることをお勧めします。

用紙種類

この設定は、デバイスに指定された用紙種類に基づき、**[給紙元]** を選択します。通常は、**[指定なし]**のままにしておきます。

排紙先

この設定では、印刷ジョブの出力に使用する出力用トレイを指定します。

印刷の向き

この設定では、印刷ジョブの用紙方向を指定します。**[180°回転]** を選択すると、印刷ジョブの向きが180°回転します。

部数

この設定では、印刷する部数を指定します。複数の部数を帳合いして出力する場合は、**[部単位印刷]** を選択します。

両面印刷

この設定では、両面印刷を行うことができます。

カラー

この設定では、フルカラー印刷、黒色トナーだけの印刷、およびエコプリントモードを選択できます。

参考: アプリケーションによっては、ドライバで指定した印刷設定を無視して印刷を行う場合があります。通常は、設定に従うようにアプリケーションを設定します。Microsoft Word 2007では、**[オプション]** の **[デフォルトのトレイ]**を **[プリンタ設定に従う]** に指定してください。

給紙元および用紙種類

[基本設定] タブの、**[給紙元]** で印刷ジョブのプリンタで使用するトレイまたはカセットを指定します。デフォルトは **[自動選択]** で、プリンタはアプリケーションまたはプリンタドライバから要求された用紙を検索します。

[用紙種類] は、プリンタにアプリケーションまたはプリンタドライバから要求された用紙またはメディアの種類を検索するよう指示します。表示される選択肢は **[給紙元]** での選択によって異なります。自動選択を選択した場合、プリンタは同じメディアが入っている別のトレイまたはカセットを検索します。

OHPフィルムやラベル紙、封筒は、MP トレイを使用して印刷します。用紙の給紙は、プリントシステムに付属している使用説明書の手順に従って、正しく行ってください。

参考: 給紙元 と 用紙種類 は、別々のダイアログボックスで設定しますが、[互換性設定] の [給紙元リストにメディアタイプも表示する] 設定を使用して、組み合わせて設定することが可能です。組み合わせて設定する場合、[基本設定] タブの 用紙種類 は使用できません。この設定を変更するには、[デバイス設定] > [互換性設定] を開き、[給紙元リストにメディアタイプも表示する] の選択をオフにします。

出力用紙サイズと原稿サイズ

[出力用紙サイズ]は、文書を出力する用紙のサイズを選択します。この設定を使用する際は、原稿サイズ の設定がアプリケーションで設定されている原稿サイズと一致していることを確認してください。原稿サイズ がアプリケーションの原稿サイズと異なると、各ページは 出力用紙サイズ と一致させるために拡大または縮小されます。かっこ内の数値（%）は、出力用紙サイズ に対する 原稿用紙サイズ の比率です。原稿サイズ がアプリケーションで設定されている 原稿サイズ (元のサイズ) と一致しないと、ほとんどの場合、原稿サイズ は無視され、文書は元のサイズで出力されます。

カスタム用紙サイズの作成

カスタム用紙サイズを使用するには、カスタムサイズを指定した後、原稿サイズ のリストに追加します。ドライバには、最大 20 のカスタムサイズを作成することができます。

1 [基本設定]タブで、[原稿サイズ]をクリックします。

2 [新規] をクリックします。

3 [名前] ボックスに、デフォルトのカスタムサイズ名が表示されます。カスタムページサイズの名前を入力します。

4 幅と長さの値を入力するかまたは選択します。幅や長さの値が許可される制限を超えた場合、[適用]または[OK]をクリックした後に値は自動的に制限値に調整されます。

5 完了したら、[適用] をクリックします。

用紙サイズ のリストにカスタム用紙サイズが表示されます。

[原稿サイズ] ダイアログボックスからカスタム用紙サイズを削除するには、カスタム用紙サイズの名前を選択し [削除] をクリックします。

カスタム用紙サイズを使用して印刷

次の手順を実行してカスタムサイズの用紙 (またはOHPフィルムなどの他のメディア) に印刷できます。

1 アプリケーションで、[ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

2 [印刷]ダイアログボックスで、[プロパティ]をクリックします。

3 [基本設定] タブで、[出力用紙サイズ] リストのカスタム用紙サイズ名を選択します。

4 [給紙元] リストから、カスタムサイズの用紙を給紙する、給紙元 を選択します。[OK] をクリックして [印刷] ダイアログボックスに戻ります。[OK] をクリックして印刷を開始します。

両面印刷

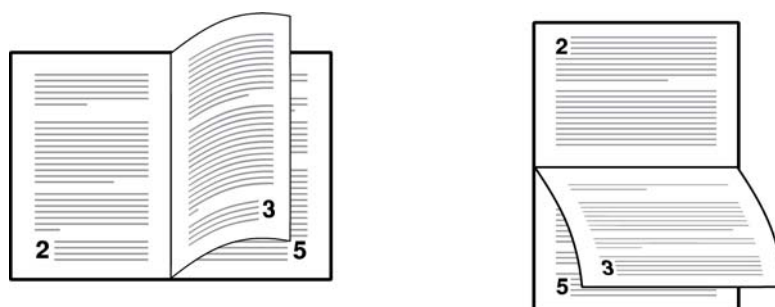
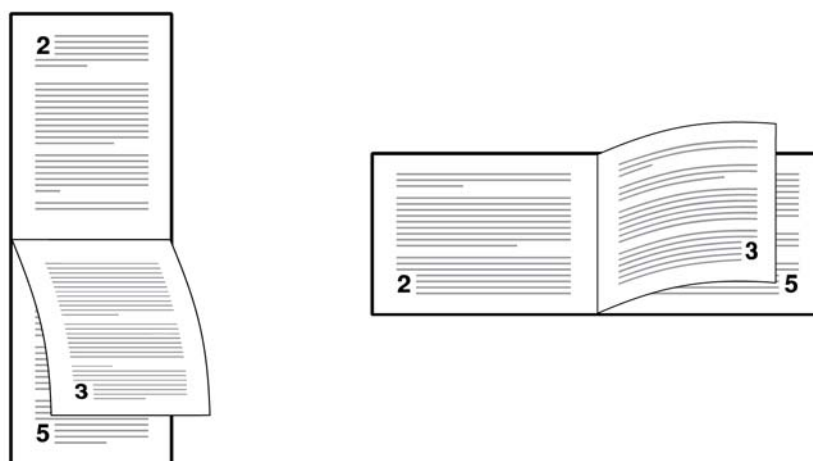
両面印刷は、用紙の両面に印刷します。[両面印刷] をオンにして両面印刷を開始します。両面印刷が選択されていないと、プリンタは用紙の片面にだけ印刷します。プリントシステムには、用紙を裏返すことによって裏面への印刷を可能にする両面ユニットが搭載されています。表紙と裏表紙の両面に印刷しページを挿入するには [両面印刷] を選択する必要があります。

長辺とじ

冊子の横でページをとじるように、用紙の長辺をとじて中身を表示する場合に選択してください。

短辺とじ

冊子の上部でページをとじるように、用紙の短辺をとじて中身を表示する場合に選択してください。

長辺とじ

短辺とじ

両面印刷モードで印刷

1 [基本設定]タブで、[両面印刷] を選択します。

2 [長辺とじ]または[短辺とじ]のいずれかを選択します。

部単位印刷

部単位印刷 は、複数部印刷ジョブでページが印刷される順番を指定します。部単位印刷 を選択すると、最初に印刷ジョブのデータがプリントシステムに送信され、ページ

画像としてプリントシステムのメモリにレンダリングされます。残りのジョブのコピーは、保存されたデータから印刷します。これにより、すべてのコピーをコンピュータからプリントシステムに送信しようとする追加プロセスの発生を防ぐことができます。

部単位印刷 が選択されると、ドライバはジョブ一式を1冊ごとに印刷します。部単位印刷 がクリアされると、ドライバは各ページごとに部数分印刷します。たとえば、部単位印刷 を選択し、5 ページの原稿を 3 部出力する場合、1 ページから 5 ページまで連続して、3 回印刷します。

文書の部単位印刷

複数ページの文書を複数部印刷するとき、プリントシステムはページ順に1部ごとにまとめることができます。

1 アプリケーションで、**[**印刷**]** ダイアログボックスを開き、**[**プロパティ**]** をクリックします。

2 **[**基本設定**]**タブで、**[**部単位印刷**]**チェックボックスをオンにします。

3 **[**部数**]**ボックスに部数を入力するかまたは設定されている文書の数字を選択します。文書ページ数は、トレイが収納できる枚数以下である ことが必要です。

4 **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻り、**[OK]** をクリックして印刷を開始します。

カラー印刷、白黒印刷、エコプリント

[カラー**]**のオプションでは、フルカラー印刷または黒色トナーのみ印刷を選択できます。エコプリントは、印刷の外観を明るく見せるオプションです。次のカラーモードが使用可能です。

カラー **(CMYK)**

このモードは、テキストやグラフィックをフルカラー印刷します。

白黒

カラー設定を無視して、黒のみを使用して印刷する場合は、このモードを使用してください。

エコプリント は、印刷ジョブ内の画像、テキスト、およびグラフィックス全体を薄い濃度で印刷します。エコプリントは、印刷速度には影響がありません。

カラー印刷、白黒印刷、およびエコプリントは、**[**簡単設定]タブおよび**[**印刷品質]タブでも表示されます。**[**簡単設定**]**、**[**基本設定**]**、または**[**印刷品質**]**タブでの変更は他のダイアログボックスにも影響があります。

印刷ジョブでカラー**(CMYK)**または白黒を選択します。**[**エコプリント**]**の設定は任意です。

京セラロゴ

[ドライバ]タブの下部には必ず、京セラロゴが表示されます。ロゴをクリックすると、ドライバのバージョン番号とドライバプラグイン情報を表示した**[**バージョン情報**]**ダイアログボックスが開きます。

バージョン情報の表示

[詳細バージョン**]** をクリックすると、次のようにドライバ情報が表示されます。

- ファイル名
- バージョン

- 説明
- 日付
- 製造元
- コメント

著作権情報を表示するには、**[**使用条件**]**をクリックします。

[OK]をクリックして、[ドライバ情報]ダイアログボックスを閉じます。

プラグイン情報の表示

[プラグイン**]** をクリックして次のドライバ情報を表示します。

- モジュール
- 説明
- バージョン

プラグインの削除

ドライバに装着されているプラグインを削除できます。削除すると、ドライバのインタフェースにはプラグインの機能は表示されません。

1. **[**スタート**]**、**[**コントロールパネル**]** の順にクリックして、**[**プリンタ**]** (Windows Vistaの場合)、またはWindowsの**[**プリンタと**FAX]**(Windows XPの場合)をクリックします。
2. 目的のプリンタアイコンを右クリックします。
3. **[**プロパティ**]** を選択します。
4. **[**デバイス設定**]** タブを選択します。
5. 京セラ ロゴをクリックして **[**バージョン情報**]** ダイアログボックスを開きます。
6. プラグイン をクリックして **[**プラグイン情報**]** のダイアログボックスを開きます。
7. リストからプラグインモジュールを選択して、**[**削除**]** をクリックし、次に **[**はい**]** をクリックします。
8. すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

参考**:** **[PDF**への出力**]** モジュールを削除する場合は、ダイアログボックスで **PDF** が選択されていないことを確認してください。

5 レイアウト

[レイアウト] タブで、元の文書に影響を与えずに、印刷されたページでドキュメントデータを配置することができます。

これらの機能は、[レイアウト] タブで使用できます。

ブックレット

ブックレット 機能を使うと、1 枚の用紙に 2 ページのレイアウトで両面印刷を行うことができます。ブックレットは、用紙の中央で 2 つに折りたたんでとじることができます。折りたたんだブックレットは、選択した用紙の半分のサイズになります。たとえば、[基本設定] > [用紙] > [用紙サイズ]で[A4]を選択すると、印刷出力は中折りされてA5サイズのブックレットとなります。

ブックレットが選択された場合、ページ集約、ポスター印刷、および縮小・拡大などのその他のオプションは使用できません。

ブックレットの表紙には別の給紙元を選択できます。ブックレットに表紙を含めるには、[表紙/合紙] タブで、[表紙付け] を選択します。

ブックレット印刷

ブックレット印刷では以下のように左とじ印刷または右とじ印刷を選択する必要があります。

1 **[**レイアウト**]** タブで**[**ブックレット印刷**]**を選択して、左とじまたは右とじのどちらかを選択します。

左とじ

左から右に読み取る文書を印刷する場合、これを選択します。

右とじ

右から左に読み取る文書を印刷する場合、これを選択します。

2 **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻ります。

3 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

ページ集約

ページ集約は、文書のレビューや用紙節約などの目的で 1 枚の用紙に複数ページ印刷します。用紙 1 枚あたりに印刷されるページ数が増えるため、読みやすさは低減します。各ページの境界線を印刷するなどのページの調整も設定できます。

ページ集約印刷

このセクションでは、1 枚の用紙に複数のページを選択し、並べて印刷する方法について説明します。

1 **[**レイアウト**]** タブで、**[**ページ集約**]** をオンにします。

2 **[1** シートのページ数**]** で、1 枚の用紙に印刷するページ数を指定します。

3 各ページの境界線を印刷するには **[**境界線を印刷**]** をオンにします。

4 **[**レイアウト**]** リストから、ページを並べる方向を横に選択します。

5 **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻ります。

6 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

ポスター印刷

ポスター印刷 機能を使用すると、プリンタで印刷可能な用紙サイズより大きなサイズの文書を印刷できます。元の大きさの最大 25 倍までの大きさの、ポスターやバナーを印刷できます。ポスター文書は分割されて複数枚の用紙に印刷され、ポスター設定の機能を使って再びこれらの用紙を集めることにより、簡単にポスターを作成できます。

[分割ページ数**]** を使用して、元の文書サイズに対応するポスターのサイズを選択します。各オプションには印刷されるページ数と最大ポスターサイズが表示されます。

参考: 分割ページ数には、測定の単位がインチまたはミリメートルで表示されます。**[**単位**]**の設定を変更するには、**[**プリンタとファクス設定**]** フォルダで、プリンタを右クリックします。**[**プロパティ**]**、**[**デバイス設定**]**、**[**ユーザ設定**]**の順にクリックします。

[ポスター設定**]** を使用して、ポスターの作成に最も便利なように、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションは、ポスター印刷された用紙に、ページの裁ち落としやページのつなぎ合わせに便利なガイドラインを印刷します。

のりしろ幅

隣り合う用紙の端をオーバーラップさせて印刷する機能です。このように端をオーバーラップさせて印刷すると、ポスターの見栄えがよくなります。チェックボックスをオンにして、のりしろ幅を 0.00 から 1.20 インチ (0.0 から 30.4 mm) の範囲で入力または選択します。この機能を使用すると、最終的なポスターのサイズが少し小さくなります。

枠線を印刷

ポスター用紙の端を示す枠線を印刷します。用紙をつなぎ合わせる前に、枠線から外側を切り落としてください。これによって、隣り合う用紙どうしの印刷内容が正確につながります。

つなぎ目の番号を印刷

各用紙の端に番号を印刷し、隣り合う用紙どおしを番号であわせます。同じ番号の用紙の端を重ね合わせて完成させます。

印刷されたポスター用紙をどのようにつなぎ合わせるのかを見るには、ポスター設定を選択後、**[**印刷条件**]** を選択してテスト印刷を行います。

ポスター印刷

指定した枚数に実際に分割して印刷します。

テスト印刷

すべてのポスターページを 1 枚の用紙に印刷して、どのように仕上がるのか表示します。

ポスター印刷**+**テスト印刷

すべてのポスター用紙の印刷 (ポスター印刷) と 1 枚のテスト印刷の両方が実行されます。

ポスター印刷

ポスターやバナーを印刷するには、次の手順を実行してください。

1. **[**レイアウト**]** タブで、**[**ポスター印刷**]** を選択します。
2. **[**分割ページ゛数**]**でポスターのサイズを選択します。各オプションには仕上がりを 1 枚の用紙に収めるため分割する枚数が記されています。
3. **[**ポスター設定**]**をクリックして、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションによってポスターを作製するためのより細かい設定が行えます。
4. **[**印刷条件**]** では、仕上がり印刷条件のオプションを 1 つ選択します。
5. **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻ります。
6. **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

縮小・拡大

[縮小・拡大**]** を使用して、テキストやグラフィックを含むページを拡大または縮小して印刷します。また、とじしろ設定を使用して、複数ページをブックレット印刷する際に、とじしろを拡大することが可能です。拡大・縮小は、ブックレット、ポスター印刷、またはページ集約が選択されている場合は使用できません。

[レイアウト**]** タブで、**[**縮小・拡大**]**を選択し、20～500%の範囲で、比率を入力または選択します。縮小・拡大 は、用紙の長さと幅を同比率で調整します。比率が小さいとページは縮小され、大きいと拡大されます。

6 仕上げ

[仕上げ]タブで、パンチやステープルなどの仕上げ機能を指定できます。

これらの機能は[仕上げ]タブで使用できます。

とじ指定

とじ指定は、同一文書に異なる用紙サイズが含まれる場合、同じ長さの辺をそろえて綴じる機能です。たとえば、A4 ページの長辺を A3 ページの短辺に揃えたり、Letter サイズページの短辺をLegalサイズページの短辺に揃えたりします。とじ指定は、ステープル機能の使用とは関係なく使用できます。

文書のステープルの位置は、混在した用紙サイズによって決まります。また、とじ指定を使用しないで混在した用紙サイズの文書を印刷すると、ステープルの位置は給紙カセットの用紙サイズの設定(縦または横)によって決まります。

とじ指定は、[仕上げ] タブの他のどの機能よりも先に選択しておく必要があります。とじ指定を最後に指定すると、ステープルで行った設定が変更されてしまう可能性があります。

とじ指定を指定することによって、振り分けや回転機能は使用できなくなります。とじ指定は、ポスター機能とは一緒に使用できません。

とじ指定の組み合わせ

とじ指定は、次の用紙サイズの組み合わせで使用できます。

A4 と**A3** (210 x 297 mmと297 x 420 mm)

B5 (JIS) と**B4** (182 x 257 mmと257 x 364 mm)

Letter と**Legal** (8.5 x 11インチと8.5 x 14インチ)

Letterと**Ledger** (8.5 x 11インチと11 x 17インチ)

16Kと**8K** (197 x 273 mmと273 x 394 mm)

とじ指定の設定

1. [基本設定]タブで、[用紙サイズ]と[原稿サイズ]を同じ設定にします。
2. [基本設定]タブの、[給紙元]リストで、[自動選択]をオンにします。
3. [仕上げ]タブで、[とじ指定]を選択します。
4. 使用可能な[印刷の位置]オプション、またはｶｽﾀﾑを選択します。印刷の位置は、[基本設定]タブの[出力用紙サイズ]が基本になります。
5. すべてのドライバのダイアログボックスで**[OK]**をクリックします。
6. 各用紙サイズの用紙を、それぞれの給紙カセットにセットします。たとえば、縦の長さが297 mmの場合は、A4およびA3サイズの用紙、8.5インチの場合はLetterおよびLegalサイズの用紙を使用できます。
7. アプリケーションの[印刷]ダイアログボックスで[**OK**]をクリックします。

   プリントシステムで使用できない原稿サイズまたは方向(短辺とじまたは長辺とじ)が指定された場合、プリントシステムの操作パネルに、正しい方向で適切なサイズの用紙をセットするようメッセージが表示されます。

とじ指定の印刷位置

使用可能なオプションから、仕上げのページとじの方法を指定できます。その他の印刷の位置を選ぶには、[カスタム]を選択し、次に[設定]をクリックします。指定可能な印刷の位置は、出力用紙サイズ、印刷の向き、中とじ、およびページ集約などの選択状態によって異なります。

サイドパネルに表示されるページ画像には、とじ指定およびステープルが選択されている場合、その位置が青い縦線で強調表示されます。ステープルオプションが使用されている場合、選択した位置によってステープルされる場所が決まります。この画像を使用して、選択したとじ指定およびステープルの位置を確認できます。

カスタムとじ方向設定

印刷の位置でカスタム,を選択するには、[設定]をクリックして[ｶｽﾀﾑとじ方向設定]ダイアログボックスを開きます。設定をいずれか1つ選択します。ダイアログボックスの図は、ページ揃えを視覚的に確認するのに便利です。

[カスタムとじ方向設定]ダイアログボックスでは、次のようになっています。

一番上の2つの設定(A4/Letter)は、ページ指定のサイズが小さい用紙向けです。

2行目の設定(A3/Legal/Ledger)は、ページ指定のサイズが大きい用紙向けです。

用紙を揃える場合にもっとも適した設定を選択してください。カスタムとじ指定の設定を変更すると、変更による互換性を保つため他の選択も調整されることに注意してください。

とじしろ

とじしろは、用紙の左側または上部に追加の余白を作成します。これは印刷ジョブを読みやすくするためで、とじ、穴あけ、またはステープルなどに使用されます。とじしろのサイズを増やすと左側の文書およびグラフィックの周りのマージン、あるいは印刷用紙の上部が広くなります。印刷可能領域を右に移動するとマージンスペースが大きくなり、1 インチ (25.4 mm) まで指定できます。

1 **[**仕上げ**]**タブで**[**とじしろ**]**を選択します。

2 **[**とじしろの幅**]** オプションに、5.0から25.4 mm の範囲の値を入力します。

長辺とじ **(**左**)**

これを選択するとページ左側の外側のマージンを変更できます。

短辺とじ **(**上**)**

これを選択するとページ上部の外側のマージンを変更できます。

参考**:** とじしろが使用できるかどうかは、**[**基本設定**]** タブのとじ指定、印刷の向きと両面モードの設定によって異なります。

3 文書が用紙の端に寄りすぎる場合は、**[**ページ゛に合わせて縮小する**]**を選択してください。文書は用紙の端から離れ少しだけ縮小されます。とじしろを増やしてもページからはみ出ない場合は **[**ページ゛に合わせて縮小する**]** をオフにします。

4 **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻ります。

5 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

ステープル

ステープル 機能は、オプションのフィニッシャが装着されたプリントシステムで使用することができます。

オプション機器は本体への装着後に、**[**デバイス設定**]** タブでプリンタドライバに認識させる必要があります。

参考**:** ステープル は 仕分け 機能と同時に使用することはできません。

[基本設定**]** タブで 排紙先 として プリンタのデフォルト が指定されている場合、**[**仕上げ**]** タブのオプションを選択すると、排紙先は仕上げオプションと互換性を保つため、自動選択となります。排紙先は、選択された仕上げオプションをサポートする、最初に使用可能な出力トレイに自動的に変更されます。

[ステープル**]**は**[**排紙先**]**を自動的に選択します。**[**仕上げ**]** オプションが変更されても、排紙先 の選択には影響はありません。

文書のステープル

[仕上げ**]** タブの ステープル 機能を使用すると、文書をステープルして出力することができます。最初に **[**デバイス設定**]** タブの **[**使用できるオプション**]** でフィニッシャを選択します。ステープル を選択すると、仕分け および **OHP**合紙 は使用できません。ステープルする枚数は、フィニッシャのモデルおよび選択された 原稿サイズ または 用紙種類 によって異なります。とじしろは、ステープルの場所に応じて上および左マージンを増やすことができます。

1 **[**仕上げ**]** タブで、**[**ステープル**]** を選択します。

2 ステープルの機能で、位置と数を選択します。[数] は次の2つのオプションが使用できます。[全ページ] ではタブに表示された最大枚数を指定することができ、文書1部ごとに指定した枚数がそれぞれステープルされます。位置の設定オプションは、とじ指定の設定によって異なり、文書に応じてステープルの位置を指定できます。

3 **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻ります。

4 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

パンチ

パンチ 機能は、印刷された文書の端に穴を開け、バインダーなどでとじられるようにします。

パンチは、**[**デバイス設定] タブの**[**使用できるオプション] で3000 枚仕上げが選択されている場合に有効です。**[**使用できるオプション**]** の一覧に青色で表示されているフィニッシャのチェックボックスをオンにすると、**[**パンチユニット設定**]** ダイアログボックスが表示されます。デバイスのリストがすでにオンになっている場合、オプションをダブルクリックすると、**[**パンチユニット設定**]** ダイアログボックスが表示されます。

パンチ は、**[**レイアウト**]** タブで **[**ブックレット**]** がオンになっている場合は使用できません。

パンチオプションの設定

[仕上げ**]**タブで**[**パンチ**]**オプションを使用する前に、**[**デバイス設定**]**タブでパンチオプションを設定しておく必要があります。選択したオプションは、**[**仕上げ**]**タブの**[**パンチ**]**で使用できます。

1 **[**デバイス設定**]**タブの、**[**使用できるオプション**]**で、**3000** 枚仕上げを選択します。すでに選択してある場合は、青色の文字をダブルクリックします。

2 装着されているパンチユニットに応じて、オプションを1つ選択します。

なし

[仕上げ**]**タブで、パンチオプションは使用できません。

2穴

[仕上げ**]**タブで、2穴のパンチオプションを使用できます。

2&3穴

[仕上げ**]**タブで2穴および3穴のオプションを使用できます(インチ単位)。

2 & 4穴

[仕上げ**]**タブで2穴および3穴のオプションを使用できます(mm 単位)。

3 **[OK]** をクリックします。

文書のパンチ

フィニッシャデバイスでパンチの機能をサポートしている必要があります。

使用可能なパンチオプションは、デバイスに装着されているパンチフィニッシャおよび選択された**[**デバイス設定**]**タブでの設定によって異なります。

1 **[**仕上げ**]**タブで、パンチを選択します。

2 パンチ穴の数を、**2**または**4**穴 (メートル法)、または**2**または**3**穴 (インチ法)から選択します。

印刷ジョブは、フィニッシャによってパンチされ、出力トレイに排紙されます。

振り分け

仕分け機能は、印刷出力されたジョブどうしを他と仕分けできるように積み重ねて排紙します。

[振り分け**]** を選択すると、排紙トレイ上で印刷された文書を物理的に一部ごとにずらして排紙します。振り分けの際の積み重ねが一貫して行われるようにするため、同じプリントシステムで印刷するすべてのユーザは **[**振り分け**]** をデフォルト設定として選択する必要があります。

振り分け

[振り分け］機能は、排紙トレイ上で印刷された文書を物理的に一部ごとにずらして排紙します。

振り分けの際の積み重ねが一貫して行われるようにするため、同じプリントシステムで印刷するすべてのユーザは**[**振り分け］をデフォルト設定として選択する必要があります。

振り分け

振り分け 機能を使用するには、**[**デバイス設定**]** タブの **[**使用できるオプション**]** でフィニッシャデバイスを選択しておく必要があります。ステープル機能とは併用できません。

1 **[**基本設定**]**タブの**[**排紙先**]** で、フィニッシャのフェイスダウントレイを選択します。

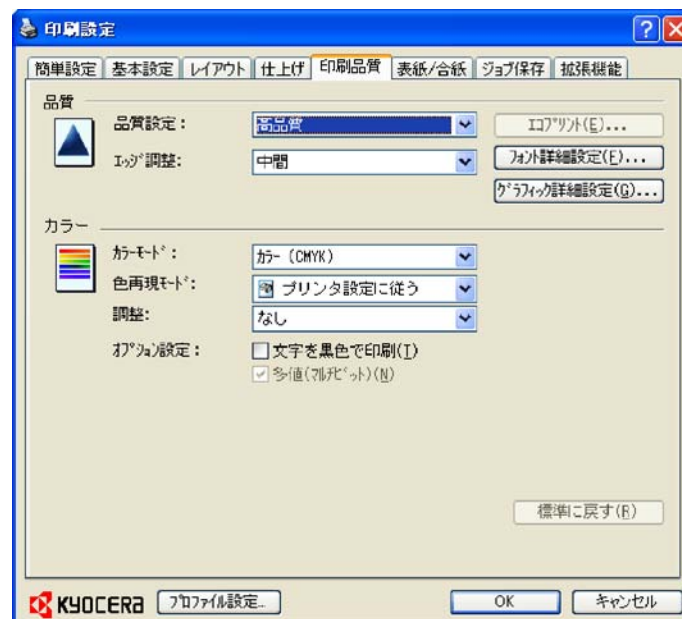
2 **[**仕上げ**]** タブを開き、**[**仕分け**]** > **[**振り分け**]** を選択します。

3 **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻ります。

4 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

7 印刷品質

[印刷品質] タブで、印刷の品質およびカラー設定を設定できます。

これらの機能は [印刷品質] タブで使用できます。

印刷品質とエコプリント

[印刷品質] は、印刷ジョブの解像度を設定します。解像度とは、テキストおよび画像のシャープさや鮮明度を、1 インチあたりのドット数(dpi) で表したものです。[印刷品質]のドロップダウンリストから[高品質]または[ユーザ定義]を選択します。

エコプリント は、印刷ジョブ内の画像、テキスト、およびグラフィックス全体を、薄い濃度で印刷します。エコプリントは、印刷速度には影響がありません。[印刷品質]ドロップダウンリストからユーザ定義を選択し、次にエコプリントをクリックしてダイアログボックスを開きます。[ｴｺﾌﾟﾘﾝﾄ] ダイアログボックスで、オンを選択します。

印刷品質の選択

[印刷品質］タブで、リストから**[**印刷品質］を選択します。印刷品質の選択肢は、プリントシステムでサポートされている解像度によって異なります。

高品質

この設定を選択すると、プリントシステムの最高解像度で印刷します。

ユーザ定義

ユーザ定義では、エコプリントの設定を選択できます。エコプリントを選択しないでユーザ定義を選択すると、デフォルトの設定はプリントシステムの最高解像度となります。

エッジ調整

カラー印刷では、インクやトナーは同一ページに各色ごとに別々に印刷されます。カラー画像は、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各色に分解された領域から構成されます。高品質のカラー画像を生成するためには、これらの色分解された領域を精密に配置する(レジストレーションと言います)ことが必要です。印刷中に用紙が給紙される際、わずかに位置がずれる場合があります。ごくわずかな位置ずれであっても、カラー画像の色ずれとなって現れる場合があります。カラーエッジ調整を行うと、各色領域の境目を微細に重ね合わせることにより、この色ずれを補正できます。

文書内でエッジ調整を使用するには、印刷のオーバーラップ画素幅を、低く、0.5 ピクセル エッジ調整、中間、1 ピクセル エッジ調整、高、1.5 ピクセル エッジ調整、最大、2 ピクセル エッジ調整、の値の中から選択します。

エッジ調整を行っても、色ずれが補正されない場合は、京セラ ミタ販売代理店までお問い合わせください。

参考**:** PDL が **PCL 5c** または **PDF** に設定されている場合、エッジ調整は使用できません。

フォント

フォントは、書体デザインの同じ文字や記号などの一そろいを含むデータファイルです。フォントの一般的な用語は次のとおりです。

ビットマップフォントは、各文字をピクセル（画像を構成する最小単位のドット）の組み合わせで表現するフォントです ビットマップフォントは、拡大または縮小を行うと、ゆがみが発生します。

ビットマップフォントとは対照的に、アウトラインフォントは、数学的な線および曲線として定義されます。アウトラインフォントは、(ポイントサイズにかかわらず、ゆがみなく表示および印刷が可能なため）ビットマップフォントと異なり任意に拡大縮小が可能です。

ネイティブフォントは、PCのオペレーティングシステムにインストールされている、基本的なフォントです。TrueType フォントは、Microsoft Windows で使用されるネイティブフォントです。

TrueTypeフォントは、拡大縮小可能なアウトラインフォントの1つです。TrueType は、Microsoft Windows で最も多用されて来た汎用的なフォント形式です。

システムフォントは、オペレーティングシステムで使用される基本のフォントです。システムフォントは通常、アプリケーションインタフェース、または一般的なフォントダイアログボックスを介して使用されます。

デバイスフォントは、プリントシステムメモリに恒久的または一時的に保存されています。

フォント詳細設定

[フォント詳細設定**]** ダイアログボックスでは、TrueType フォントのプリントシステムへの送信方法を選択し ます。選択した方法は、印刷ジョブの速度と品質に影響を与えます。

TrueTypeフォントをアウトラインフォントとしてダウンロード

この方法は、複数の異なるフォントやフォントサイズを使用する大きな文書や印刷ジョブに最適です。この設定の最適化機能により印刷の速度も速くなります。同じフォントデータを繰り返しプリントシステムに送信する回数が減ることによって印刷速度が速くなります。日本語、中国語、韓国語などのアジア言語は、これらの特定のフォントに対して大量の情報が使用されているため、印刷速度は速くなりません。

Type42 フォント送信モード

この方法は、TrueType フォントを Adobe Type 42 フォント形式に変換することによって、テキストの印刷品質を改良し、印刷速度を上げます。この機能は、**KPDL**が選択されている場合に使用可能です。

TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロード

ビットマップとしてフォントをダウンロードすると、より詳細になりますが、ファイルのサイズは非常に大きくなります。これは、ユーザ定義フォント、非常に小さいフォント（ポイントサイズ 1-4）、またはアジアンフォントなどを使用している印刷ジョブに最適です。

プリンタフォントに代替えする

書体名に基づいてシステムフォントとプリンタフォントが自動的にマッチングされます。このファンクションは印刷速度と効率を上げます。これは、大きなドキュメント全体に使われているフォントを一括して変えるのに便利です。

参考: **GDI** 互換モードは**[**プリンタフォントに代替えする**]** をサポートしていません。

フォント詳細設定の選択

1 **[**フォント**]** をクリックして **[**フォント詳細設定**]** ダイアログボックスを開きます。

2 いずれかの TrueType フォントの送信方法を選択し、**[OK]** をクリックします。

フォントの代替え

フォントの代替えは、プリントシステムで指定したフォントが存在しない場合に、代わりに別のフォントを使用する処理のことです。フォントの代替えは、フォントを多数内蔵していないプリントシステムに文書を送信する場合に、重要な機能です。

[印刷品質**]** タブで、**[**フォント詳細設定**]**、**[**プリンタフォントに代替する**]**、**[**フォントの代替え**]** の順に選択して **[**フォントの代替え**]** ダイアログボックスを開きます。

[システムフォント**]** リストにはPCにインストールされているフォントが表示されます。**[**使用可能プリンタフォント**]** リストには、プリントシステムが表示されます。システムフォントを選択し、それに代替えするプリンタフォントを選択します。**[OK]** をクリックして、設定内容を保存します。プリンタフォントにシステムフォントと類似のフォントがない場合、文書内の文字間隔が正しく表示されない場合があります。

プリンタフォントを使用しない

TrueType フォントを、アウトラインフォントまたはビットマップフォントとして送信しても、プリントシステムフォントと置き換えられることがあります。TrueType フォントを、プリントシステムのフォントと代替えしないようにするには、**[**プリンタフォントを使用しない**]** を選択します。

このオプションによって印刷可能データの可搬性も向上します。(このオプションをオフにすると、異なるプリントシステムに送信した場合、プリンタフォントは一致しません。)

一部の Adobe アプリケーションでは、プリンタフォントの使用に制限がある場合があります。これらの制限を回避するには、**[**プリンタフォントを使用しない**]** を選択します。プリンタフォントは、PC側に同等のTrueTypeフォント(TrueTypeアイコンで表示)が存在しない場合、アプリケーション内のフォント一覧などではフォント名のとなりにプリンタアイコンが表示されて区別されます。

[印刷品質**]** タブで **[**詳細設定**]** をクリックして **[**フォント詳細設定**]** ダイアログボックスを開き、**[**プリンタフォントを使用しない**]** チェックボックスを選択します。

グラフィックス

グラフィックスは、情報を画像で表したものです。グラフィックスを使ってチャートやダイアグラムなどの機能的な情報を表示、あるいは絵や写真などのアートを表示できます。**[**グラフィックス詳細設定**]** では、印刷するグラフィックのパターンスケーリング、反転、イメージデータ方式、および CIE オプションを選択できます。

参考: いくつかのオプションは特定の PDL が選択されている場合にのみ使用できます。

1. **[**印刷品質**]** タブで、**[**グラフィックス詳細設定**]** をクリックして**[**グラフィックス詳細設定**]** ダイアログボックスを開きます。

2. ダイアログボックスで、パターンスケーリング、反転オプション、イメージデータ方式、および**CIE**オプションを選択し、**[OK]** をクリックして選択を保存します。

パターンスケーリング

パターンスケーリングは、モニタ表示と印刷出力間の見た目を極力一致させる機能です。図形やパスなどのオブジェクトには、ドットの集合体から構成される網目パターンや塗りつぶし領域が含まれることがあります。パターンとは規則的あるいは不規則的に反復された色や図形、線、値、背景から構成され、視覚的な配列を作り出します。フィルとは、色または階調によってオブジェクトを塗りつぶすものです。印刷されたパターンやフィルが画面の表示と一致しない場合、パターンスケーリングを使用して、他のドット密度を使用してみてください。

自動 (デフォルト設定)

この設定は画面の表示に最も近いパターンおよびフィルで印刷します。

粗い

この設定は、最も粗い線数やパターン、またはドットで印刷を行います。[粗い]は、PDLが **PCL XL** または **PCL 5c** の場合(**[**デバイス設定**]**、**[PDL]** 、**[PDL**設定**]** で設定)は、[自動]と同じです。

中間

この設定は、線数やパターン、およびドットを、[粗い]の場合より上げて、パターンおよびフィルを印刷します。[中間]は、PDLが **KPDL** の場合(**[**デバイス設定〕、**[PDL]**、**[PDL**設定**]** で設定)は、[自動]と同じです。

精細

細かいドットのパターンで印刷します。印刷結果は画面表示より濃くなる場合があります。

オプション

オプションでは、印刷内容を写真のネガのようなイメージにしたり、鏡像のように逆になるように印刷します。

[印刷品質**]** タブで、**[**グラフィックス**]** をクリックして **[**グラフィックス詳細設定**]** ダイアログボックスを開き、**[**反転**]** オプションにアクセスします。この機能は、**KPDL** が **[**デバイス設定**] > [PDL]**、**[PDL**設定**]** の順で選択されている場合に使用可能です。

ネガティブイメージ印刷

この設定は、画像を写真のネガのように、画像の白と黒の領域を反転して印刷します。

ミラーイメージ印刷

この設定は、画像が鏡に映ったように、ページを鏡対称にして印刷します。

イメージデータ方式

イメージデータ方式は、プリントシステムの機能あるいは効率を改良するための処理または方法です。

[印刷品質**]** タブで、**[**グラフィックス詳細設定**]** をクリックして**[**グラフィックス詳細設定**]** ダイアログボックスを開き、次のどちらかを選びます。この設定は、**KPDL** または **XPS** が、**[**デバイス設定**]** 、**[PDL]** 、**[PDL**設定**]** の順で選択されている場合に使用できます。

バイナリ

この設定は印刷速度を上げ、スプールデータ量を削減します。イメージをバイナリ形式で送信します。これはほとんどすべての印刷ニーズに対して使用できます。

ASCII

この設定は、ASCII テキストエンコードで PostScript ファイルを作成します。バイナリ で作成したバイナリ形式とは異なり、これを選択して作成した ASCII テキストは編集可能です。

CIE 最適化

CIE 最適化を使用すると、Adobe Acrobat や Photoshop などのアプリケーションで使用される、CIEカラースペースによる各処理で実行される通常の処理をバイパスします。この機能を使用すると、CIE データの最適化によってこれらのアプリケーションから印刷される文書の印刷速度が速くなります。CIE データを使用していない印刷ジョブに対しては効果はありません。**CIE** 最適化は、実際に印刷される出力と画面上の表示が異なる場合があるため、色再現性よりも印刷速度を重視したい場合に選択します。

[印刷品質**]** タブで、**[**グラフィックス詳細設定**]**をクリックして**[**グラフィックス詳細設定**]** ダイアログボックスを開き、**[CIE** 最適化**]**チェックボックスをオンにします。**CIE** 最適化は、**KPDL** が **[**デバイス設定**] > [PDL]> [PDL**設定**]** の順で選択されている場合に使用可能です。

参考: Windows Vista オペレーティングシステムで Kyocera XPS ドライバを使用している場合、**CIE** 最適化は使用できません。

カラーモード

[カラーモード**]**のオプションでは、フルカラー印刷または黒色トナーだけの印刷を選択できます。

次のカラーモードが使用可能です。

カラー **(CMYK)**

このモードは、テキストやグラフィックをフルカラー印刷します。

白黒

カラートナーを使用せずに、黒色のみを使用して印刷する場合は、このモードを使用してください。**[**バランス調整**]**を変更するには、**[**調整**]** をクリックします。

色再現モード

色再現モードでは、写真やグラフィックスの色再現を最適化します。この機能は、カラー **(CMYK)** がカラーモードとして選択されている場合に使用可能です。

次の色再現モードを使用できます。

プリンタ設定に従う

このオプションは、プリンタの設定のみを使用します。

文書**+**グラフ

このオプションは、グラフ、チャート、図形などを多く含む文書の印刷に適しています。

文書**+**写真

このオプションは、写真画像を多く含む文書を印刷するのに適しています。

あざやか

このオプションは、グラフィックや写真をあざやかに印刷します。

DTP

このオプションは、グラフィックや写真が混在した文書の印刷に適しています。画面に近い色合いで印刷したい場合に選択してください。

線画

このオプションは、線で描かれた図形などの印刷に適しています。色付きの線を単色で印刷する場合に選択してください。

色合わせ

このオプションは、さまざまなデバイス間で一貫したカラー再現を実現するのに適しています。異なるカラープリントシステム間の、色空間の差を補います。一連のプロファイルを選択し、適用することをカラープロファイルと呼びます。カラーモードで**[**白黒**]**が選択されている場合、拡張機能は使用できません。

色合わせ

色再現モードの**[**色合わせ**]**で、プリンタが色合わせを処理する方法を選択することができます。

1 色再現モードから、**[**色合わせ**]**を選択します。**[**色合わせ**]** ダイアログボックスが表示され、次の項目が選択できます。

なし **(**アプリケーション設定**)**

このオプションを選択すると、プリントシステム内部のカラー参照テーブルでの調整を使用せずに、色合わせ処理を行います。インクシミュレーションは実行されません。これはアプリケーションで独自の色調整が可能な場合に使用します。

ICM (システム調整**)**

このオプションは、印刷ジョブでカラーレンダリングを指定し、できる限り元の色を再現します。ICM は、プリントシステムなどの出力デバイスにカラープロファイルを関連付ける技術です。プリントシステムに関連付けられた ICM プロファイルには、そのデバイスで正確なカラー再現を行うための情報が含まれています。ICM の設定は、プリントシステムのプロパティの [色の管理] タブで設定します。

なし **(**アプリケーション設定**)** オプションを選択した場合、**[OK]** をクリックし、**[**色合わせ**]** ダイアログボックスを閉じます。

ICM (システム調整**)** オプションを選択する場合は、**[ICM** 詳細設定**]** をクリックし、手順 2 に進みます。

2 **[ICM 詳細設定]** ダイアログボックスで、**[色表現]** オプションを選択し、**[OK]** をクリックして選択を保存します。

色を忠実に再現する **(**カラーメトリック**)**

このオプションは、会社のロゴなどのように、どのような印刷ジョブでも正確に色を合わせたい場合に選択します。

コントラストで最適化する **(**イメージに最適**)**

このオプションは、階調範囲全体にわたってディテールを保つようコントラストを調整し、カラーコントラストを最適化します。様々な色や影が多く含まれているイメージデータやスキャニングした写真などを印刷する場合に選択してください。

彩度で最適化する **(**グラフィックスに最適**)**

このオプションは、色合いを調整して純色の鮮やかさを保持することにより、色の彩度を最適化します。ベタ色を含むグラフや表などを印刷する場合に選択します。

3 **[OK]** をクリックして**[**色合わせ**]** ダイアログボックスを閉じます。

Windows XPでのデフォルトカラープロファイルの設定

[色合わせ**]**ダイアログボックスでICM (システム調整)機能を使用する場合、プリントシステムにカラープロファイルを設定できます。

1 **[**プリンタと**FAX]**フォルダを開きます。

2 目的のカラープリンタを右クリックします。

3 **[**プロパティ**]**を選択します。

4 **[**色の管理**]**タブをオンにします。

5 **[**追加**]** をクリックします。

6 **[**プロファイル関連付けの追加**]**ダイアログボックスで、リストからカラープロファイルを選択し、**[**追加**]**をクリックします。

7 **[**色の管理**]**タブで、手動を選択します。

8 リストからカラープロファイルを選択し、**[**デフォルトに設定**]**をクリックします。

9 **[OK]** をクリックします。

Windows Vistaでのデフォルトカラープロファイルの設定

[色合わせ**]**ダイアログボックスでICM (システム調整)機能を使用する場合、プリントシステムにカラープロファイルを設定できます。

1 コントロールパネルの**[**プリンタ**]**フォルダを開きます。

2 目的のカラープリンタを右クリックします。

3 **[**プロパティ**]**を選択します。

4 **[**色の管理**]**タブをオンにします。

5 **[**色の管理**]**をクリックして、**[**色の管理**]**ダイアログボックスを開きます。

6 **[**デバイス**]**タブを選択します。

7 **[**デバイス**]**リストで、目的のカラープリンタを選択します。

8 このデバイスにユーザ設定を使用を選択します。

9 プロファイルの選択リストで、**[**手動**]**を選択します。

10 **[**追加**]**をクリックして、**[**カラープロファイルの関連付け**]**ダイアログボックスを開きます。

11 ICCプロファイルを選択するか、または**[**参照**]**をクリックしてプロファイルを探して**[OK]**をクリックします。プロファイルは、このデバイスに関連付けられたプロファイルリストに追加されます。

12 リストからカラープロファイルを選択し、**[**デフォルトに設定**]**をクリックします。

13 **[**閉じる**]**をクリックします。

色調整

色調整では、ドライバの2つのカラースペースをカスタマイズし、3つのカスタムグループを保存することができます。カラースペースの変更は、赤、緑、青(RGB)レベル、または色合い、彩度、明るさ (HSL)に対して行うことができます。

1 カラーモードで、カラー **(CMYK)**を選択します。

2 すでに色設定が定義済みの場合は、**[**調整**]** ドロップダウンリストから、カスタム **1**、カスタム **2**、またはカスタム **3** を選択します。色の設定が定義されていない場合は、**[**カスタム設定］ をクリックして **[**バランス調整**]** ダイアログボックスを開きます。

3 **[**色調整**]**リストから、カスタム **1**、カスタム **2**、またはカスタム **3**を選択します。

4 **[**色調整**]**ダイアログボックスを開くには、**[**設定**]**をクリックします。

5 カラースペースとして動作する **HSL (**色相、彩度、明るさ**)** または **RGB** (赤、緑、青)を選択します。

6 イメージ写真下の矢印ボタンをクリックして、3 枚あるイメージ写真からいずれかを選択してください。それぞれイメージ写真の強調している色の特徴が異なっていますので、色調整の度合いがわかりやすくなっています。

HSL の調整 (色相, 彩度, 明るさ)

HSL コントロールは、色のフルスペクトル、明るさ、コントラスト、および鮮やかさを調整します。

1 **[**カラースペースの選択**]**で、**HSL (**色相、彩度、明るさ**)**を選択します。

2 色相の配布とバランスを調整します。

コーディネートされた色相調整の場合は、**[**色選択**]** リストから、マスタを選択します。**[**色相**]** スライダを右または左にドラッグして -180 から +180 までの範囲で値を増減します。

特定の色相を調整する場合は、**[**色選択**]** リストからレッド、イエロー、グリーン、シアン、ブルー、マゼンタのいずれかを選択します。色相スライダを右または左にドラッグして -10〜+10 の範囲で値を増減します。

スライダがドラッグされると、あるいはボックスに値が入力されると、上のカラーバーは調整が行われたことを示します。上のカラーバーの上にある水平ブラケットには、調整によって影響を受けたカラーバーの範囲が示されます。

下のカラーバーには色相調整に対して、上のカラーバーへの参照ポイントが示されます。

3 それぞれのスライダを操作して、彩度、明るさ、コントラストを -10 から +10 までの範囲で調整します。またはボックスに値を入力することもできます。

4 すべてのHSL設定をゼロに戻す場合は、**[**リセット**]** をクリックしてください。

5 **[OK]**をクリックして、新規のHSL調整を保存します。

RGB (赤、緑、青) の調整

RGB は、赤、緑、青色の相対値だけを調整します。

1 **[**カラースペースの選択**]** で、**RGB** を選択します。

2 各バーで、スライダをドラッグして赤、緑、青の相対値を -10 から +10 の範囲で調整します。またはボックスに値を入力することもできます。

3 すべての RGB 設定をゼロに戻す場合は、**[**リセット**]** をクリックしてください。

4 **[OK]** をクリックして新規の RGB 設定を保存します。

グレイスケール調整

バランス調整は、グラフィックスの明るさおよびコントラストを変更します。これらの設定は、グラフィックイメージが明るすぎる、薄すぎる、あるいは暗すぎる場合に便利です。テキストに、影響はありません。

1 **[**印刷品質**]**タブの**[**カラーモード**]**で、**[**白黒**]**を選択します。

2 **[**調整**]**ドロップダウンリストで、**[**ユーザ定義**]**を選択します。

[バランス調整**]** ダイアログボックスのプレビューイメージに明るさとコントラストの変更が表示されます。

3 印刷ジョブのグラフィックイメージをより明るくするには明るさのスライダを右に、暗くするには左にドラッグします。

右側のテキストボックスに数値を入力しても明るさを変更できます。+100 で最も明るくなり、-100 で最も暗くなります。0 で通常の明るさです。明るさの調整は、グラフィックイメージが極端に明るく、または暗く印刷されてしまう場合に便利です。

4 印刷ジョブのグラフィックイメージの明暗の対比を増減するにはコントラストスライダを右または左にドラッグします。

コントラストの設定を高くすると、グレイスケールのスペクトルが減少し、明るいグレイはより明るく、暗いグレイはより暗くなります。コントラストの設定を低くすると、グレイスケールのスペクトルが増加し、明るいグレイは暗めに、暗いグレイは明るめになります。

右側のテキストボックスに数値を入力してもコントラストを変更できます。+100 で最も強くなり、-100 で最もコントラストが弱くなります。0 で通常の明るさです。コントラストの調整は、グラフィックイメージがぼやけて、あるいは明暗がはっきりしすぎて印刷されてしまう場合に便利です。

オプション設定

文字を黒色で印刷

このオプションはすべての文字を黒色で印刷します。プリンタに送るデータ量が減るため、カラー印刷ジョブの印刷が高速化します。白黒印刷では、この機能を使用することで、印刷された淡色テキストのきめ細かさが向上します。白い文字には影響ありません。すべての**[**カラーモード**]** オプションで使用可能です。

多値（マルチビット）

画像は、写真のように均等な一連のグレデーションによって表示されます。カラー**(CMYK)**は、カラーモードとして選択する必要があります。

画像を黒色で印刷

このオプションは、すべての画像および文字を、グレースケールではなく黒色で印刷します。この機能はCADアプリケーション向けに実装されています。カラーモードとして白黒を選択する必要があります。

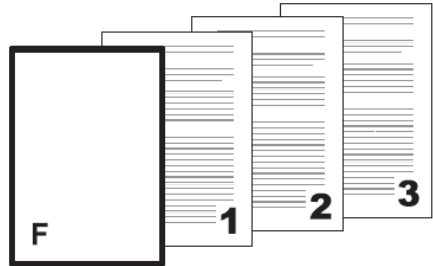
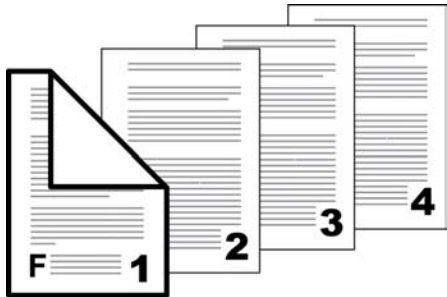
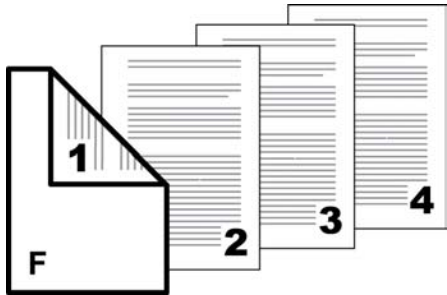
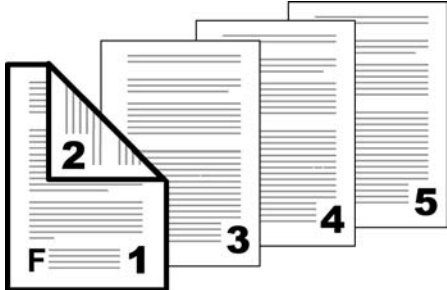
8 表紙/合紙

[表紙/合紙] タブでは、表紙を作成、挿入したり、印刷ジョブ用に OHP フィルムを追加したりできます。

これらの機能は、[表紙/合紙] タブで使用できます。

表紙付け

表紙付けは、文書の表紙および裏表紙に表紙付けページを追加する機能です。本文ページとは別の厚手の用紙やカラー紙などを使い、表紙を印刷することができます。表紙の給紙元は、同じく [表紙/合紙] ダイアログボックスのタブの [表紙の給紙方法] 設定で指定します。

[表紙の内面に印刷] または [裏表紙の外面に印刷] オプションを使用して、印刷を行うには [基本設定] タブで [両面印刷] を選択する必要があります。

表紙付け と 合紙 との併用はできますが、**OHP** 合紙 との併用はできません。

表紙の印刷

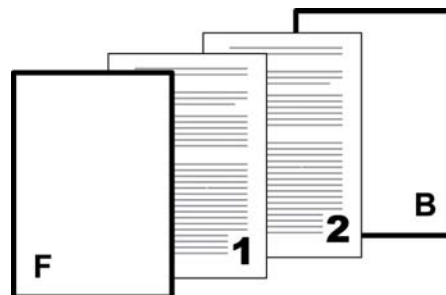
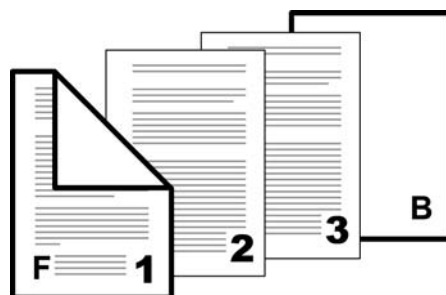
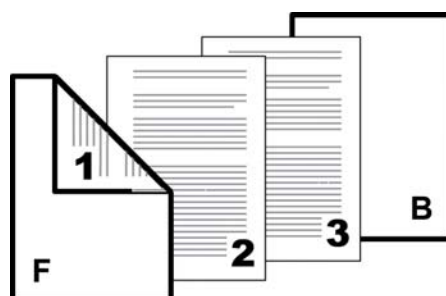
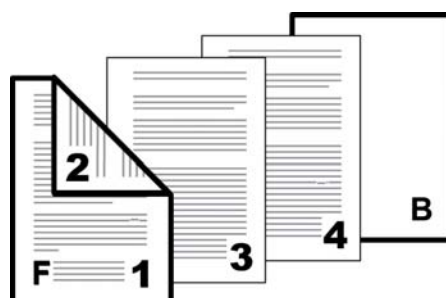
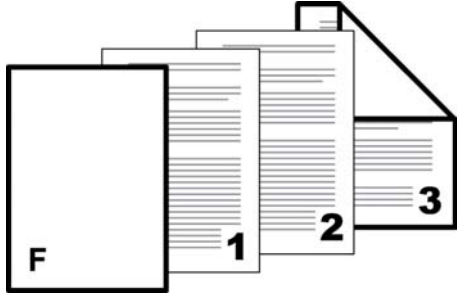
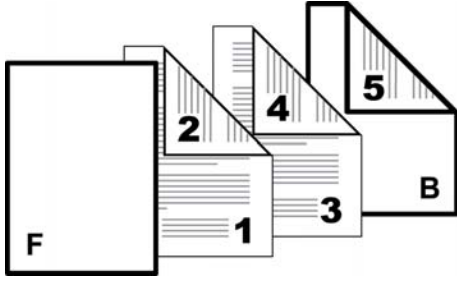
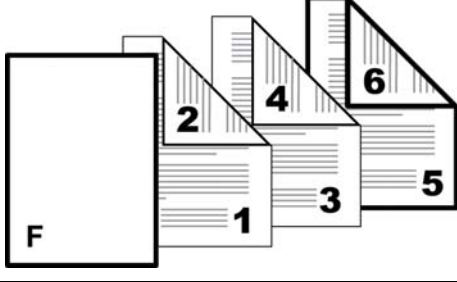
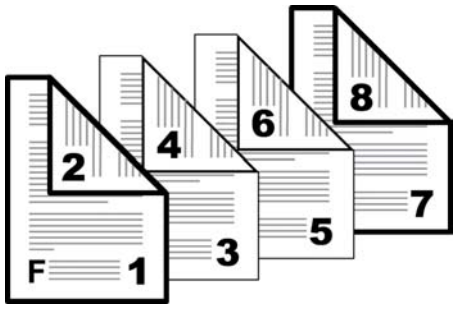
1 [表紙/合紙] タブで、[表紙付け] を選択します。

2 [表紙のみ] 、[表紙と裏表紙] 、または [印刷する用紙] オプションを選択して印刷する表紙の種類を選択します。

3 **[表紙の給紙方法]** を選択して表紙に使用する用紙種類や給紙方法を選択します。

表紙付けオプション

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙のみ	白紙の表紙を追加します。
表紙のみ 表紙の外面に印刷	表紙の外面に印刷します。
表紙のみ 表紙の内面に印刷	表紙の内面に印刷します。
表紙のみ 表紙の外面に印刷 表紙の内面に印刷	表紙の両面に印刷します。

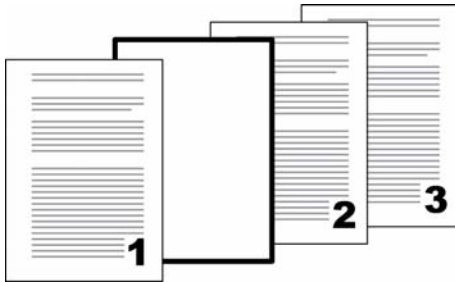
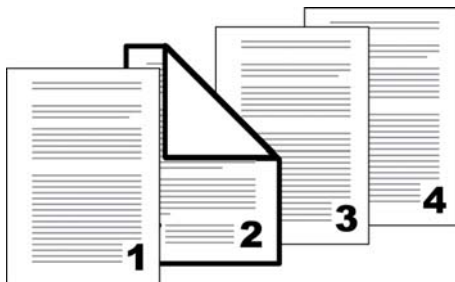
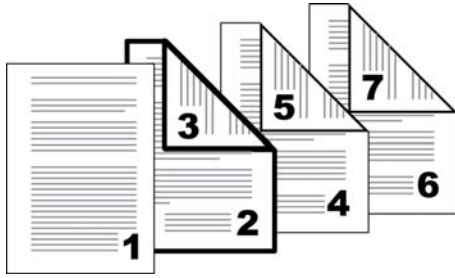
チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙と裏表紙	白紙の表紙と裏表紙を追加します。
表紙と裏表紙 表紙の外面に印刷	表紙の外面に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。
表紙と裏表紙 表紙の内面に印刷	表紙の内面に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。
表紙と裏表紙 表紙の外面に印刷 表紙の内面に印刷	表紙の両面に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙と裏表紙 裏表紙の内面に印刷	裏表紙の内面に印刷し、白紙の表紙を追加します。
表紙と裏表紙 裏表紙の外面に印刷	裏表紙の外面に印刷し、白紙の表紙を追加します。
表紙と裏表紙 裏表紙の内面に印刷 裏表紙の外面に印刷	裏表紙の両面に印刷し、白紙の表紙を追加します。
表紙と裏表紙 表紙の外面に印刷 表紙の内面に印刷 裏表紙の内面に印刷 裏表紙の外面に印刷	表紙と裏表紙の両面に印刷します。

表紙の給紙方法の選択

1 **[表紙の給紙方法]** リストで、表紙と裏表紙の用紙種類または給紙元を選びます。
用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と合致する給紙元を選択します。

2 **[OK]** をクリックして **[**印刷**]** ダイアログボックスに戻ります。

3 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

合紙

合紙 とは、プレプリントされたページ、または印刷ジョブの指定された箇所に挿入される異なった種類の用紙のことです。また、その用紙に印刷することも可能です。両面印刷ユニットを装着すると、合紙裏面に印刷することもできます。

合紙印刷 機能は、表紙付け印刷 機能と組み合わせて使用できますが、**OHP** 合紙印刷 との組み合わせはできません。

合紙印刷

合紙にはいくつかの方法があります。片面、両面に印刷、または白紙を差し込むこともできます。**[**合紙**]** チェックボックスをオンにします。目的の合紙印刷の組み合わせを選択します。合紙の表面または裏表面に印刷を行う場合は、合紙の **[**おもて面に印刷**]** または **[**裏面に印刷**]** チェックボックスをオンにします。

合紙印刷の組み合わせ

チェックボックス選択	合紙の種類
合紙	合紙として白紙を挿入する。
合紙 合紙のおもて面に印刷	合紙のおもて面に印刷する

チェックボックス選択	合紙の種類
合紙 合紙の裏面に印刷	合紙の裏面に印刷する
合紙 合紙のおもて面に印刷 合紙の裏面に印刷	合紙の両面に印刷する

OHP合紙

OHP合紙印刷では、印刷される各OHP フィルムの間に合紙を挿入します。合紙はOHP フィルムを清潔に保ち、OHP フィルムに傷がつくことを防ぎます。この機能は、OHP フィルムを手差しトレイから給紙して印刷する場合にのみ使用可能です。OHP フィルム間に挿入する合紙に、OHP フィルムと同じ文書を印刷することもできます。

OHP 合紙印刷の機能は、表紙付け機能 および 合紙印刷機能 との組み合わせはできません。

OHP 合紙印刷

1 **[**基本設定**]** タブの、**[**用紙種類**]** リストで、**[OHP**フィルム**]** を選択します。**[**給紙元**]** と **[**用紙種類**]** リストが組み合わせされている場合 (**[**デバイス設定**]** タブの、**[**互換性設定**]** ダイアログボックスで選択)、**[**用紙種類**]** は表示されません。代わりに **[**給紙元**]** リストで、**[**自動 **(OHP**フィルム**)]** を選択します。

2 **[**表紙**/**合紙**]** タブをクリックします。

3 **[**表紙**/**合紙**]** タブで、**[OHP**合紙**]** チェックボックスをオンにします。OHP フィルムと同じ文書を合紙にも印刷する場合は、**[**合紙に印刷**]** チェックボックスをオンにします。

4 **[**合紙の給紙方法**]** ドロップダウンリストから、合紙の用紙 または 給紙カセット を選択します。**[**用紙種類**]** を選んだ場合は、自動的に用紙種類がセットされた 給紙カセット を選択します。

5 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

プリントシステムの操作パネルには、OHP フィルムを手差しトレイにセットするよう、また必要に応じて、合紙の用紙を選択したカセットにセットするよう求めるメッセージが表示されます。

9 ジョブ保存

[ジョブ保存] タブでは、プリントシステムにインストールされているメモリに印刷ジョブを保存できます。ジョブ名 を選択してもジョブ保存機能を使用できます。ジョブ名機能は、Windows アプリケーションから文書を印刷するときに、プリントシステムの操作パネルに任意の名前を表示させることができます。

これらの機能は [ジョブ保存] タブで使用できます。

ジョブ拡張機能

[ジョブ拡張機能] には、印刷ジョブをプリンタのメモリに保存するためのオプションセットが用意されており、それらの印刷ジョブを印刷したり、後で再印刷することができます。印刷ジョブは、プリンタの操作パネルから後で簡単に印刷しなおすことができ、機密文書の印刷を許可されたユーザだけに制限することも可能です。

e-MPSは、高度な印刷管理をデスクトップから直接行うことのできる多層的なソリューションです。プリンタにジョブを保存することにより、パソコンからジョブを再送信しなくても、プリンタの操作パネルからすぐに印刷することが可能です。

ジョブ拡張機能 を利用するには、[デバイス設定] タブから開くことのできる [ユーザ設定] ダイアログボックスで、[ユーザ名]を設定します。設定されていない場合は、接続したPCのユーザ名が使用されます。

ジョブ拡張機能のオプション

	ストレージロケーション	必要なアクセスコード	ジョブの印刷	メモリからのジョブ削除	機能操作パネル
ユーザボックス	ハードディスク	オプションパスワード	操作パネルからの出力時	手動で削除または最大31日間	文書ボックス / ﾕｰｻﾞﾎﾞｯｸｽ
クイックコピー	ハードディスク	いいえ	最初に印刷を行った後	プリントシステムの電源オフ時またはハードディスクの容量の超過時	文書ボックス / ジョブボックス / 簡単印刷/試し刷り後、保留
試し刷り後、保留	ハードディスク	いいえ	試し刷りとして1部印刷して、残りは待機	プリントシステムの電源オフ時	文書ボックス / ジョブボックス / 簡単印刷/試し刷り後、保留
プライベートプリント	ハードディスク	はい	操作パネルからアクセスコードが入力された時	印刷後、プリントシステムの電源オフ時	文書ボックス / ジョブボックス / プライベートプリント/ジョブ保留
ジョブ保留	ハードディスク	オプション	操作パネルからの出力時	手動で削除された時	文書ボックス / ジョブボックス / プライベートプリント/ジョブ保留

ユーザボックス

[ユーザボックス]では、ハードディスク内の仮想メールボックスに印刷ジョブを送信できます。印刷ジョブは、プリントシステムの動作パネルから印刷されるまでそこに保存されます。ハードディスク から1つまたは複数のジョブを印刷できます。

印刷後、印刷ジョブは削除または ハードディスク に1～31日間保存できます。

ユーザボックスは、プリントシステムの動作パネルおよび[デバイス設定]タブの[ハードディスク設定]で、各ユーザごとに設定する必要があります。ユーザボックスの最大数は1000です。

ユーザボックスへのジョブの保存

ユーザボックスが割り当てられた後、印刷ジョブをユーザボックスに送信することができます。印刷ジョブはプリントシステムのハードディスクに保存されます。

1 [ジョブ保存]タブで、[ジョブ拡張機能]、[ユーザボックス] の順に選択します。

2 [設定]をクリックします。

3 [ユーザボックス設定] ダイアログが表示されます。

[特定のボックス番号を使用]を選択し、ボックス番号とパスワードを入力します。

[印刷時にボックス番号を入力]を選択し、[OK] をクリックします。[ユーザボックス] ダイアログボックスが表示されたら、[定義されたユーザボックス]リストからボックス番号を入力します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

[印刷時にボックスリストから選択**]**を選択し、**[OK]**をクリックします。**[**ユーザボックス**]**ダイアログボックスが表示されたら、リストからボックスを選択します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。これは、**[**ハードディスクの設定**]**ダイアログボックスで**[**共有ボックス**]**が設定されている場合に、選択することができます。

[ログインユーザ毎にボックス番号を確認**]**を選択し、**[OK]**をクリックします。**[**ユーザボックス**]**ダイアログボックスが表示されたら、ボックス番号を入力します。パスワードを含めるには、**[**パスワードの確認**]**を選択し、パスワードを入力します。これは、**[**ハードディスクの設定**]**ダイアログボックスで**[**共有ボックス**]**が設定されている場合に、選択することができます。

[ログインユーザ毎にボックス番号を確認**]**が選択されている場合、ドライバはユーザボックスからログインユーザ名を検索してカスタムボックス名として使用します。

合致したIDが見つかると、そのユーザボックスを使用して印刷ジョブが実行されます。

合致したIDが見つからなかった場合、ドライバは管理者権限またはユーザ権限のチェックを行います。管理者権限を持っている場合、ボックス番号および印刷ジョブ用のパスワードを入力するよう求められます。ドライバは Windows のログインユーザ名を検索し、ボックス番号とパスワード と一緒にこの名前をドライバのユーザボックスリストに追加します。ユーザ権限の場合、印刷ジョブはキャンセルされます。ユーザには管理者に問い合わせてて印刷権限を取得するよう促すメッセージが表示されます。

ユーザボックスからジョブを印刷

ユーザボックスに保存されていたジョブを印刷することができます。

1. プリントシステムの操作パネルで、**[**文書ボックス**]**ボタンを押下します。
2. 画面では、**[**ユーザボックス**]**を押します。
3. リストをスクロールして目的のユーザボックスを探します。
4. ボックス番号を押下し、次に**[**開く**]**を押下します。パスワードが設定されている場合は、**[**パスワード**]**を押下し、キーボード表示を使用してパスワードを入力します。次に**[OK]**を押下します。
5. 印刷するジョブ名を押下します。
6. **[**印刷**]**を押下します。
7. **[Quick Setup]**、**[Function]**、色**/**画質タブで目的の設定を選択します。
8. **[**スタート**]**ボタンを押下して印刷を開始します。

ユーザボックスジョブの削除

ユーザボックスに保存されている印刷ジョブはすべてプリントシステムの操作パネルから手動で削除できます。

1. プリントシステムの操作パネルで、**[**文書ボックス**]**ボタンを押下します。
2. 画面では、**[**ユーザボックス**]**を押します。

3 上矢印または下矢印を押し、必要なユーザボックスを表示します。

4 ボックスを押し、**[**開く**]**を押します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

5 上矢印または下矢印を使用して**[**ジョブ名**]**を表示します。

6 **[**ジョブ名**]**の隣のチェックボックスをオンにして、**[**削除**]**を押下し、次に**[**はい**]**を押してジョブを削除します。

クイックコピー

クイックコピーは、印刷を行った後、再び印刷できるようにするため印刷ジョブのコピーをすべて印刷して、一時的にハードディスクに保存しておく、ジョブ拡張機能のオプションです。この機能は、ハードディスクがインストールされていて、**[**デバイス設定**]** タブで選択されている場合に使用可能です。

クイックコピーは、印刷を行った同じ日に後で、再びジョブの追加印刷が必要になった場合に便利です。ユーザは、パソコンからジョブを再送信しなくても、プリンタの操作パネルから追加部数を設定したり、ジョブを印刷することができます。

保管可能な クイックコピー または 試し刷り後、保留 ジョブの数は、プリンタの操作パネルから最大50個まで設定することができます。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。**[**クイックコピー**]**ジョブはすべて、印刷後にハードディスに保存されますが、プリンタの電源がオフになると削除されます。ジョブは、操作パネルから手動で削除することもできます。

注意: 印刷ジョブはハードディスク内にある同じユーザ名とジョブ名を持つジョブと入れ替わることがあります。こうした状況を防ぐには、**[**上書きモード**]** で、**[**ジョブ名 **+** 日付と時間を使用**]** を選択します。

クイックコピージョブの印刷

ハードディスクを設置すると、クイックコピー機能では、文書を印刷して、それをジョブを手動で削除するか、またはプリンタの電源を落とすまで、プリンタに保存することができます。

1 **[**ジョブ保存**]** タブで **[**ジョブ拡張機能**]** を選択します。

2 **[**クイックコピー**]**を選択し、**[OK]**をクリックして印刷を開始します。

たとえば、その日の後で会議があり、いくつかの部数を印刷する場合は、クイックコピー 機能を利用します。追加のコピーが必要になることが分かっている場合、ユーザは、パソコンからジョブを再送信しなくても、プリンタの操作パネルからすぐに印刷することが可能です。

クイックコピージョブの再印刷

コンピュータからジョブを再送信しなくても、プリンタの操作パネルからクイックコピージョブを再印刷することができます。

1 プリントシステムの操作パネルで、**[**文書ボックス**]**ボタンを押します。

2 画面では、**[**ジョブボックス**]**を押します。

3 [クイックコピー/試し刷り後保留]を押し、[開く]を押します。

4 上矢印および下矢印を使用して[ユーザ名]を表示します。

5 目的の[ユーザ名]を押して、[開く]を押します。

6 上矢印または下矢印を使用して[ジョブ名]を表示します。

7 [ジョブ名]を押し、[印刷]を押します。

8 プラス(+)およびマイナス(-)ボタンを押して、コピーの枚数を選択します。

9 [印刷開始]を押して文書を印刷します。

試し刷り後保留

[試し刷り後、保留] は、印刷ジョブを1部印刷してから残りの部数を印刷することで、印刷結果を確認できる [ジョブ保留 (e-MPS)] オプションです。この機能は、プリントシステムにハードディスクがインストールされていて、それが [デバイス設定] タブで選択されている場合に使用可能です。

試し刷り印刷を行い、確認した後は、コンピュータからジョブを再送信しなくても、プリンタの操作パネルから残りの部数を印刷することが可能です。必要に応じて、印刷部数は変更することができます。

参考: [試し刷り後、保留] は、Microsoft Excelなど一部のアプリケーションでは使用できません。

[試し刷り後、保留] の部数、または保存可能な [クイックコピー] ジョブの数は、プリンタの操作パネルで設定します。最大ジョブ数は、50個まで設定可能です。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。[試し刷り後、保留]ジョブはすべて、印刷後にハードディスクに保存されますが、プリンタの電源を落とすと削除されます。ジョブは、操作パネルから手動で削除することもできます。

注意: 印刷ジョブはハードディスク内にある同じユーザ名とジョブ名を持つジョブと入れ替わることがあります。こうした状況を防ぐには、[上書きモード]で、[ジョブ名 + 日付と時間を使用] を選択します。

試し刷り後、保留ジョブの印刷

[試し刷り後、保留] を使用すると、複数部印刷のジョブの1部を試し刷りしてから、残りの部数を印刷することができます。ハードディスク内のジョブは、プリンタの電源を落としたり、手動で削除するまで保存されます。

1 [基本設定]タブで、印刷部数を選択します。

2 [ジョブ保存]タブ開きます。

3 [ジョブ拡張機能]をクリックします。

4 [試し刷り後、保留]をクリックして、[OK]をクリックします。

試し刷り後、保留の残部数の印刷

試し刷り後保留の残りの部数はもう一度パソコンからジョブを送信しなくても、プリンタの操作パネルから印刷することができます。

1. プリントシステムの操作パネルで、**[**文書ボックス**]**ボタンを押します。
2. 画面では、**[**ジョブボックス**]**を押します。
3. **[**クイックコピー**/**試し刷り後保留**]**を押し、**[**開く**]**を押します。
4. 上矢印および下矢印を使用して**[**ユーザ名**]**を表示します。
5. 目的の**[**ユーザ名**]**を押して、**[**開く**]**を押します。
6. 上矢印および下矢印を使用して**[**ジョブ名**]**を表示します。
7. **[**ジョブ名**]**を押し、**[**印刷**]**を押します。
8. プラス**(+)**およびマイナス**(-)**ボタンを押して、コピーの枚数を選択します。
9. **[**印刷開始**]**を押して文書を印刷します。

プライベートプリント

プライベートプリント ジョブは、4桁の アクセスコード が入力されるまで、後で印刷するためハードディスクに保存されます。ハードディスク 容量が限界に達した状態で、新しい保存用ジョブが送信された場合は、古いジョブが新しいジョブに入れ替わります。プライベートプリントジョブは、プリンタをリセットしたり、電源をオフにしたりすると削除されます。ジョブを削除しない場合は、**[**ジョブ保留**]** 機能を選択してください。

機密文書をプリンタに送信する場合は、ユーザは4桁の アクセスコード を入力しなければなりません。このコードは、 ジョブ名 、ユーザ名 と共に印刷ジョブに添付されています。ユーザがプリンタの操作パネルから を入力するまで、ジョブは印刷されません。印刷後は、ジョブはプリンタのメモリから削除されます。ユーザがプリンタの操作パネルからアクセスコードを入力するまで、ジョブは印刷されません。印刷後は、ジョブはプリンタのメモリから削除されます。

保存可能な プライベートプリントジョブの数は、ハードディスクの容量のみに制限されます。ジョブは、操作パネルから手動で削除することもできます。

注意: 印刷ジョブはハードディスク内にある同じユーザ名とジョブ名を持つジョブと入れ替わることがあります。こうした状況を防ぐには、**[**上書きモード**]** で、**[**ジョブ名 **+** 日付と時間を使用**]** を選択します。

プライベートプリントジョブの保管

プライベートプリント を利用すると、印刷しなくても、プリンタのメモリに文書を一時的に保管し、アクセスコード で保護することができます。ジョブは、印刷されるか、手動で削除されるか、オフになるまで、ハードディスクに保管されます。

1. **[**ジョブ保存**]** タブで **[**ジョブ拡張機能**(e-MPS)]** を選択します。
2. **[**プライベートプリント**]** を選択します。

3 文書へのアクセスを制限したい場合は、**[**アクセスコード**]**ボックスに**4**桁の数字を入力します

4 **[OK]** をクリックします。

プライベートプリントジョブの印刷

パソコンからジョブを送信しなくても、プリントシステムの操作パネルからプライベートプリントジョブを印刷することができます。

1 プリントシステムの操作パネルで、**[**文書ボックス**]**ボタンを押します。

2 画面では、**[**ジョブボックス**]**を押します。

3 **[**プライベートプリント**/**ジョブ保留**]**を押し、**[**開く**]**を押します。

4 上矢印および下矢印を使用して**[**ユーザ名**]**を表示します。

5 目的の**[**ユーザ名**]**を押して、**[**開く**]**を押します。

6 上矢印または下矢印を使用して**[**ジョブ名**]**を表示します。

7 **[**ジョブ名**]**を押し、**[**印刷**]**を押します。

8 アクセスコード が設定されている場合は、数字のキーパッドを使用して アクセスコード を入力します。

9 プラス(+)およびマイナス(-)ボタンを押して、コピーの枚数を選択します。

10 **[**印刷開始**]**を押下して文書を印刷します。

ジョブ保留

ジョブ保留は、**[**ジョブ拡張機能**]**オプションの 1 つで、印刷ジョブを後で再度印刷できるようにハードディスクに恒久的に保存できます。また、オプション機能として、印刷ジョブが不正に印刷されることを防ぐために アクセスコード を使用することもできます。この機能は、ハードディスクがインストールされていて、**[**デバイス設定**]** タブで選択されている場合に使用可能です。

ジョブ保留 は、プリンタの電源を落として再び電源を入れた場合でも印刷可能なため、いつでも印刷を行う必要のあるジョブに便利です。ジョブ保留 ジョブを削除するには、プリンタのメモリから手動で削除します。

必要に応じて、4桁の アクセスコード を ジョブ保留 ジョブに設定して、誰にも見られないようにジョブを印刷したり、許可されたユーザだけに印刷を制限することができます。アクセスコードを設定すると、ユーザがプリンタの操作パネルからコードを入力するまで、ジョブは印刷されません。印刷後も、ジョブはプリンタのメモリに残ります。

保存可能な ジョブ保留ジョブの数は、ハードディスクの容量に依存します。ジョブは、操作パネルから手動で削除することもできます。

注意: 印刷ジョブはハードディスク内にある同じユーザ名とジョブ名を持つジョブと入れ替わることがあります。こうした状況を防ぐには、**[**上書きモード**]** で、**[**ジョブ名 **+** 日付と時間を使用**]** を選択します。

ジョブ保留ジョブの保管

ジョブ保留機能 を利用すると、文書を印刷しなくても、プリンティングシステムのメモリの中に恒久的に保存することができ、さらにその文書を アクセス コード で保護するオプションも用意されています。ジョブは、手動で削除されるまで ハードディスク に保存されます。

1 **[**ジョブ保存**]**タブで、**[**ジョブ拡張機能**(e-MPS)]**をクリックします。

2 **[**ジョブ保留**]**をクリックします。

3 文書へのアクセスを制限したい場合は、**[**アクセスコード**]**をオンにしてボックスに4桁の数字を入力します。

4 **[OK]** をクリックします。

ジョブ保留ジョブの印刷

パソコンからジョブをもう一度送信しなくても、プリントシステムの操作パネルから**[**ジョブ保留**]**ジョブを印刷することができます。

1 プリントシステムの操作パネルで、**[**文書ボックス**]**ボタンを押します。

2 画面では、**[**ジョブボックス**]**を押します。

3 **[**プライベートプリント**/**ジョブ保留**]**を押し、**[**開く**]**を押します。

4 上矢印および下矢印を使用して**[**ユーザ名**]**を表示します。

5 目的の**[**ユーザ名**]**を押下して、**[**開く**]**を押します。

6 上矢印または下矢印を使用して**[**ジョブ名**]**を表示します。

7 **[**ジョブ名**]**を押下し、**[**印刷**]**を押します。

8 アクセスコード が設定されている場合は、数字のキーパッドを使用して アクセスコード を入力します。**[OK]** をクリックします。

9 プラス(+)およびマイナス(-)ボタンを押して、コピーの枚数を選択します。

10 **[**印刷開始**]**を押して文書を印刷します。

ジョブ拡張機能ジョブの削除

プリントシステムのRAMディスク (ハードディスク)に保存されているジョブはすべてプリントシステムの操作パネルから手動で削除できます。

1. プリントシステムの操作パネルで、**[文書ボックス]**ボタンを押します。

2. 画面では、**[ジョブボックス]**を押します。

3. **[クイックコピー/試し刷り後保留]** (**[クイックコピー]**または**[試し刷り後保留]**ジョブの場合)または**[プライベートプリント/ジョブ保留]** (**[プライベートプリント]**または**[ジョブ保留]**ジョブの場合)を押して、**[開く]**を押します。

4. 上矢印および下矢印を使用して**[ユーザ名]**を表示し、**[開く]**を押します。.

5. 上矢印または下矢印を使用して**[ジョブ名]**を表示します。

6. **[ジョブ名]**の隣のチェックボックスをオンにして、**[削除]**を押します。パスワード(アクセスコード)が設定されている場合は、パスワードを入力して、**[OK]**をクリックします。パスワードが設定されていない場合は、**[はい]**をクリックしてジョブを削除します。

ジョブ名

[ジョブ名]は、それぞれの印刷ジョブごとの識別名です。これはプリントシステムの操作パネルからジョブを探したり、印刷したりするのに便利です。ジョブ拡張機能のいずれかを使用して印刷ジョブを送信する場合、ジョブにカスタム名を割り当てたり、またはアプリケーションファイルの名前を使用できます。

Microsoft Word および PowerPoint では、アプリケーションで定義されるジョブ名にアプリケーション名を含めたりまたは除外したりできます。またプリントシステムのメモリ内のジョブが印刷されるとき、同じジョブ名の新しいジョブによって置換されないようにすることもできます。

アプリケーション名をジョブ名に使用しない

[アプリケーション名を使用しない] は、ジョブ拡張機能でジョブ名からアプリケーション名を削除するオプションです。**[アプリケーションを使用しない]** を選択すると、選択したファイル名がジョブリストにわかりやすく表示されます。この機能は、Microsoft Word または PowerPoint から印刷する場合にのみ使用できます。

上書きモード

上書きモードは、保存された印刷ジョブが同じジョブ名を持つ新しいジョブによってプリントシステムのメモリ内で置き換えられないようにするためのオプションです。ユーザが同じユーザ名とジョブ名を持つ 2 つの印刷ジョブを送信した場合、2 番目のジョブは何のメッセージも表示しないで最初のジョブに置き換わります。これを防ぐために、上書きモードはジョブが送信された日付と時間を追加して自動的にジョブ名を変更します。この機能はまた、パソコンから印刷ジョブが送信された時間を追跡するのにも役立ちます。

選択されたオプションは、アプリケーション定義またはユーザ定義が選択されたジョブ名に適用されます。上書きモードオプションには、次のものがあります。

既存のファイルを置き換える

このオプションは、同じユーザ名および同じジョブ名が存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリントシステムメモリ内の既存のジョブが置き換わります。

ジョブ名 **+** 日付と時間を使用

このオプションは、現在の日付と時間をジョブ名の後ろに yymmdd hhmmss の形式で追加します。

ジョブ名の選択

ジョブ拡張機能 を使用するためにはジョブ名を選択して、プリントシステムの操作パネルのジョブリストからジョブを見つけられるようにする必要があります。選択したジョブ名は、ジョブがプリントシステムのメモリに送信されるときに、印刷ジョブによって保存されます。

1 **[**ジョブ保存**]** タブで **[**ジョブ拡張機能**]** を選択します。

2 **[**ジョブ名**]** で、名前を選択します。

アプリケーション定義

このオプションは、アプリケーション文書の名前をジョブ名として使用します。Microsoft Word または PowerPoint 文書の場合、**[**アプリケーション名を使用しない**]** を選択すると、ジョブ名としてドキュメント名だけが表示されるようにアプリケーションの名前は削除されます。

ユーザ定義

このオプションは、各ジョブごとに一意の名前を使用します。ボックスに最大 79 文字の名前を入力します。

3 同じジョブ名のジョブがすでにプリントシステムのメモリに存在する場合は、**[**上書きモード**]** オプションを選択してください。

既存のファイルを置き換える

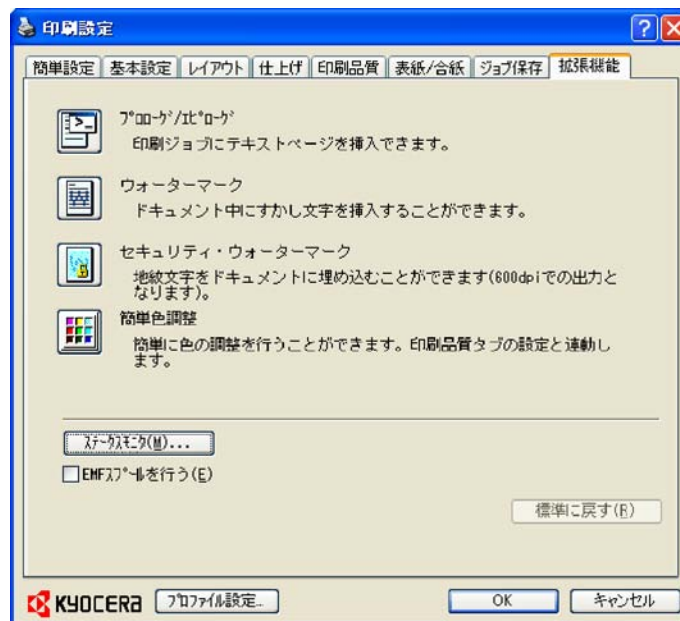
同じユーザ名および同じジョブ名を持つジョブすでに存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリントシステムメモリ内の既存のジョブが置き換わります。

ジョブ名 **+** 日付と時間を使用

現在の日付と時間をジョブ名の後ろに yymmdd hhmmss の形式で追加します。

10 拡張機能

[詳細設定]タブでは、デバイスの機能を拡張させる特殊な機能を選択することができます。

これらの機能は、[拡張機能]タブで使用できます。

プロローグ/エピローグ

プロローグ/エピローグの機能を使用すると、ユーザは印刷ジョブの始めまたは終わりにコマンドファイルを挿入することができます。テキストエディタで用意されたコマンドファイルは、プリンタ上でプリスクライブ言語で書かれたプログラミングコマンドを使用します。**Product Library CD** には、プリスクライブコマンド言語の説明書が含まれています。コマンドファイルは、一連のインストラクションのセットで、プリントシステムはこれを解釈して出力を生成します。たとえばレターヘッドのように、文書の決まった位置にロゴなどを印刷するために、プリスクライブコマンドで記述したマクロファイルなどを挿入させることができます。

プロローグ/エピローグファイルの選択

印刷ジョブに追加する前に、お使いのシステムで プロローグ/エピローグファイルを使用可能にしておく必要があります。**[プロローグ/エピローグ]** このファイルを作成するには、Windows のメモ帳などのテキストエディタを使用します。

[プロローグ/エピローグ] ダイアログボックスで、印刷ジョブに挿入するプロローグ/エピローグファイルを選択します。(リストにファイル名が表示されていない場合は、**[追加]** をクリックしてリストに追加するファイルをコンピュータまたはネットワークで検索します。) ファイルを選択すると、ダイアログボックスのそのファイルに対する挿入箇所のオプションが有効になります。

プロローグ/エピローグファイルの編集

1. **[プロローグ/エピローグ]** ダイアログボックスで、リストからコマンドファイル名を選択し、**[編集]** をクリックします。テキストファイルを編集するため Windows のメモ帳が開きます。

2. ファイルの変更を行います。

3. ファイルを保存し、Windows のメモ帳を終了します。

参考： コマンドファイルを編集して保存すると、既存のローカルまたはネットワークファイルの内容は上書きされます。

プロローグ/エピローグファイルの削除

1. **[プロローグ/エピローグ]** ダイアログボックスで、リストから プロローグ/エピローグ ファイルの名前を選択して、**[削除]** をクリックします。

2. 削除を確認するボックスが表示されたら、**[はい]** をクリックして確認します。

参考： プロローグ/エピローグデータファイルからはファイル名だけが削除されます。ファイルそのものは削除されず、ネットワークまたはローカルコンピュータに残っています。

プロローグ/エピローグファイルの挿入

1. **[プロローグ/エピローグ]** ダイアログボックスで、リストから プロローグ/エピローグ ファイルの名前を選択します。

2. **[挿入箇所]** で、プロローグ/エピローグ ファイルを挿入する場所を選択します。

プロローグ/エピローグファイルの挿入解除

プロローグ/エピローグ ファイルを割り当て解除として指定すると、そのファイルは印刷ジョブから削除されます。ただし、ファイルはリストには残ったままです。割り当て解除を選択する機能は、リストに複数のプロローグ/エピローグ ファイルがある場合に、その一部だけを使用し、他は使用したくないときに便利です。

1. **[プロローグ/エピローグ]** ダイアログボックスで、リストから プロローグ/エピローグ ファイルの名前を選択します。

2. **[挿入箇所]** で、**[なし［未設定］]** を選択します。

挿入箇所の指定

挿入箇所は、選択されたプロローグ/エピローグファイルがデバイスによって処理される印刷ジョブ内の場所です。コマンドファイルリストの各ファイルに割り当てることができるのは 1 つの挿入箇所だけです。リストでプロローグ/エピローグファイルを選択した状態で、挿入箇所オプションを 1 つ選択します。

なし[未設定]

このオプションは、選択したプロローグ/エピローグファイルを印刷ジョブに挿入しません。これはリストに複数のファイルが含まれていて、これ以外挿入したくない場合に便利です。

文書のはじめ

文書の終わり

ページ記述言語 (PDL) として **PCL 5c** を選択した場合のみ、、次のページの始めとページの終わりの挿入箇所オプションが使用できます。

ページのはじめ

ページの終わり

[ページのはじめ] または [ページの終わり] を選択した場合は、次のいずれかのページオプションを選択してください。

奇数ページに挿入

偶数ページに挿入

ページ指定

このオプションは、指定したページにファイルを挿入します。テキストボックスにページ番号をカンマで区切って入力するか、またはハイフンで区切ってページ範囲を指定します。

[ページ指定] オプションが選択されていて、数字を入力しないで **[OK]** をクリックすると、ページ番号を指定するよう求めるプロンプトが表示されます。

ウォーターマーク

ウォーターマークは目に見える画像またはパターンで、ページ上または文書全体に配置できます。標準のウォーターマークを 1 つ選択するか、または独自の文字列を作成できます。ダイアログボックスの左側のプレビュー領域には、ウォーターマークがどのように表示されるのかが示されます。これは、ウォーターマークの外観や場所などを変更したとき確認するのに便利です。

ウォーターマークの追加または編集

選択したテキストを表示する新規のウォーターマークを作成できます。すべてのウォーターマークは編集可能ですが、標準のウォーターマークに対しては一部の項目のみ編集できます。

1. [拡張機能] タブで、[ウォーターマーク] をクリックします。

2. [ウォーターマーク] ダイアログボックスで、[追加] をクリックしてユーザ定義ウォーターマークを作成するか、または [ウォーターマーク選択] で、デフォルトまたはカスタムウォーターマークを選択し、[編集] をクリックします。

3. [設定名] の下に、最大 39 文字の名前を入力します。標準のウォーターマークは、名前を変更できません。

4 [ウォーターマーク文字列] に、任意の文字列を入力します。標準のウォーターマークを編集しているときは、このオプションは使用できません。

5 文字列のフォントやスタイル、色、サイズ、数とその間隔を設定します。

6 デフォルトの色ドロップダウンリストからウォーターマークの色を選択します。カスタム色を設定する場合は、[カスタム] を選択してボタンをクリックし、[色の設定] ダイアログボックスを開きます。[基本色] の中から色を選んでクリックし、[OK] をクリックするか、[色の作成] をクリックして、カラーマトリックスを表示します。

7 ウォーターマークの [文字列の位置] で、ウォーターマークを印刷する位置を次のいずれかから選択します。

ページの中心 (デフォルト)

このオプションは、ウォーターマーク文字列の中心をページの中心に合わせます。

ユーザ定義

このオプションでは、x 軸と y 軸ボックスを操作して文字をページ内で移動します。

または、プレビュー領域の下にある位置ボタンをクリックして文字列の位置を変更できます。マウスをクリックして、ウォーターマークのイメージをポインタのドラッグ操作で移動できます。

8 [文字列の角度] を選択し、次のいずれかのオプションを使用してウォーターマークの角度を設定します。

対角線 [デフォルト]

このオプションは、ウォーターマークの文字列をデフォルトの角度でページに配置します。

ユーザ定義

このオプションでは、角度の値を入力できます。角度は 0 から 360 度の範囲で設定できます。

または、プレビュー領域の下にある角度ボタンをクリックして文字列の角度を変更できます。マウスをクリックしたまま、ウォーターマークのイメージをポインタのドラッグ操作で移動できます。

9 ダイアログボックスの右下にある [中心を軸に回転] チェックボックスでは、ウォーターマークの回転方法を設定できます。このオプションを有効にするには、[文字列の位置] で [ユーザ定義] を、[文字列の角度] で を選択する必要があります。[中心を軸に回転] チェックボックスにチェックを入れると、テキストの中央を支点にしてウォーターマークの角度を調整でき、チェックをはずすと、テキストの先頭を支点にして角度を調整できます。

10 設定が終わったら、[OK] をクリックして設定内容を保存します。

ウォーターマークのページ選択

[ウォーターマーク] の [ページ選択] オプションでは、文書のどの位置にウォーターマークを配置するかを選択することができます。

1 [拡張機能] タブで、[ウォーターマーク] をクリックします。

2 [ウォーターマーク] ダイアログボックスの、[ウォーターマーク選択] で、印刷するデフォルトまたはカスタムウォーターマークを選択します。

3 **[ページ設定]** で、ウォーターマークを印刷するページを選択します。

すべてのページ

このオプションは、文書の各ページにウォーターマークを印刷します。

最初のページのみ

このオプションは、文書の最初のページにウォーターマークを印刷します。

最初のページ以外すべて

このオプションは、最初のページの後、すべてのページにウォーターマークを印刷します。

指定したページ

このオプションは、ボックスに入力した番号のページにウォーターマークを印刷します。

表紙に印刷

このオプションは、表紙にウォーターマークを印刷します。表示への印刷は、**[表紙/合紙]** タブで 表紙付け を選択する必要があります。**[表紙付け]** と **[表紙の外面に印刷]** の両方が **[表紙/合紙]** タブで選択されていると、**[表紙に印刷]** は自動的に選択されます。

4 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定内容を保存します。

セキュリティ・ウォーターマーク

[セキュリティ・ウォーターマーク] は、背景パターンにほとんど透けているような画像やテキストを印刷するプラグイン機能です。セキュリティ・ウォーターマークは、印刷ページをコピーした場合にのみ現れます。この機能により、コピーが禁止されている印刷ページを識別したり、元の印刷ページとコピーを区別することができます。標準では、6 種類のテキストまたは画像のセキュリティ・ウォーターマークを使用することができますが、ユーザ独自のセキュリティ・ウォーターマークのテキストを作成することも可能です。

[セキュリティ・ウォーターマーク] の注目すべき機能は **[ガードパターン]** と呼ばれるもので、文書が不正にコピー、スキャン、ファックスされたり、メモリから印刷されるのを防ぎます。スキャン、ファックス、あるいはメモリからの印刷が試みられると、処理は停止し、プリントシステムの動作パネルにエラーメッセージが表示されます。

Product Library CD のプリンタドライバオプション ウィザードでは、プリンタドライバをインストールした後で セキュリティ・ウォーターマーク プラグインをインストールすることができます。

セキュリティ・ウォーターマークは、**[デバイス設定]**、**[PDL]**、**[PDL設定]**、**[PCL XL]** の順に選択すると、**[拡張機能]** タブに表示されます。

管理者は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[セキュリティウォーターマークのロック]** を選択することによって、すべてのジョブで確実にセキュリティ・ウォーターマークを印刷できるようになります。

[セキュリティ・ウォーターマーク] を選択すると、これらのドライバ機能は次の値に設定されます。

- **[拡張機能]** タブの **[ウォーターマーク]**は、**[なし]** に設定されます。
- **[印刷品質]** > **[品質]** の **[エコプリント]** は、**[オフ]** に設定されます。
- **[印刷品質]** > **[グレイスケール]** > **[ユーザ定義]**の中のバランス調整(明るさおよびコントラストは 0 に設定)。

セキュリティ･ウォーターマークの追加または編集

画像ではなくテキストを表示させるセキュリティ･ウォーターマークを新規に作成することができます。デフォルトのセキュリティ･ウォーターマークは限られた数のオプションしか変更できませんが、どのセキュリティ･ウォーターマークでも編集することは可能です。

1 **[拡張機能]** タブで、**[セキュリティウォーターマーク]** をクリックします。

2 **[セキュリティウォーターマーク]** ダイアログボックスで、**[追加]** をクリックして新しいセキュリティ･ウォーターマークを作成するか、または **[選択]** で、デフォルトまたはカスタム セキュリティ･ウォーターマークを選択し、**[編集]** をクリックします。

3 **[セキュリティウォーターマーク名]** に、最大39文字の名前を入力します。デフォルトのセキュリティ･ウォーターマークは、名前を変更できません。

4 セキュリティウォーターマークの文字列 に、文字列を入力するか、空白のままにします。デフォルトのセキュリティ･ウォーターマークを編集しているときは、このオプションは使用できません。次のオプションから選択してください。

なし

このオプションは、空行のままにします。

ユーザ定義

このオプションでは、最大39文字までのテキストを入力することができます。

これ以外のすべてのオプションでは、ジョブの印刷時にコンピュータまたはプリンタドライバから取得した日付、時刻、またはその他のジョブ情報が表示されます。

5 文字列のフォントやサイズ、スタイル、角度を設定します。

6 ウォーターマークの文字列の1行目をページの下部に印刷する場合は、**[フッターにも印刷]** を選択します。リストからページの位置を選択します。このオプションは、セキュリティ･ウォーターマークそのものが印刷ページに正常に表示されない場合に便利です。

7 **[背景のパターン]** で、セキュリティ･ウォーターマークの背景となるデザインを選択します。

標準パターン

セキュリティウォーターマークの背景となるデザインを選択します。 これはセキュリティウォーターマーク文字列、または画像を使用して選択したパターンを印刷します。

ガードパターン

ガードパターンは、セキュリティ･ウォーターマークの背景として表示されます。このオプションは、印刷されたページがコピー、スキャン、あるいはファックスから印刷されたりするのを防ぎます。コピーが試みられると、白紙コピーが作成されます。また、 スキャン、ファックスからの印刷が試みられると、処理は停止し、本体の操作パネルにエラーメッセージが表示されます。

8 リストからセキュリティ･ウォーターマークのウォーターマークカラーを選択します。オプションは、黒、シアン、またはマゼンタです。

9 セキュリティ･ウォーターマークは、デフォルトで **[上書きモード]** に設定されています。セキュリティ･ウォーターマークは文書データの上に重なって印刷されるため、印刷物の上にきちんと表示されるようになります。

10 パターン補正を行います。パターン補正を行ったら、すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

セキュリティ・ウォーターマークのパターン補正

セキュリティ・ウォーターマークを効果的にするには、印刷した用紙ではほとんど見えないようにし、コピーした用紙ではっきり表示されるようにする必要があります。プリントシステムとドライバの設定は異なっていても構わないため、セキュリティ・ウォーターマークを印刷する前に、パターン補正を行わなければなりません。また、背景パターンを変更する場合、トナーまたはデバイスを交換する場合、負荷の高い印刷を行った後も、パターン補正を行うことをお勧めします。

1 セキュリティ・ウォーターマークの**[**追加**]** または **[**編集**]** ダイアログボックスでセキュリティ・ウォーターマークオプションをすべて選択したら、**[**パターン補正**]** をクリックします。

2 **[**パターン濃淡**]** および **[**テキストコントラスト**]** で、次の中から初期オプションを選択します。

薄く、普通、濃く

背景パターンの濃度を選択します。

コントラスト**1-9**

背景パターンに対するコントラストを、最も薄いレベルから最も高いレベルの中で選択します。

ここでの選択内容は、次の手順でサンプルを印刷した結果を見て、必要に応じて変えることができます。

3 **[**サンプル印字**]** をクリックすると、選択したパターン濃淡で9種類のすべてのコントラストが表示されたページを印刷することができます。パターン濃淡の各オプションごとに、サンプルページを印刷することをお勧めします。

4 **[**テキストコントラストのサンプル**]** の中から、セキュリティ・ウォーターマークが最も写っていないサンプルを選びます。

5 **[**補正**]** ダイアログボックスで、手順4で選択したサンプルに一致するオプションを選択します。

6 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定内容を保存します。

セキュリティ・ウォーターマークのページ選択

[セキュリティ・ウォーターマーク] のページ選択オプションは、印刷ジョブでセキュリティウォーターマークを配置する場所を指定します。

1 **[**拡張機能**]** タブで、**[**セキュリティ・ウォーターマーク**]** をクリックします。

2 **[**セキュリティ・ウォーターマーク**]** ダイアログボックスの **[**選択**]** で、印刷するデフォルトまたはカスタムのセキュリティ・ウォーターマークを選択します。

3 **[**ページ選択**]** で、セキュリティ・ウォーターマークを印刷するページを選択します。

すべてのページ

このオプションは、文書の各ページにセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。

最初のページのみ

このオプションは、文書の最初のページにセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。

最初のページ以外すべて

このオプションは、最初のページの後、すべてのページにセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。

指定したページ

このオプションは、テキストボックスに入力した番号のページにセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。

表紙に印刷

このオプションは、表紙にセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。このオプションは、**[**表紙**/**合紙**]** タブで **[**表紙付け**]** が選択されている場合に使用可能です。**[**表紙付け**]** と **[**表紙に印刷**]** の両方が **[**表紙**/**合紙**]** タブで選択されていると、**[**表紙に印刷**]** が自動的に選択されます。

4 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定内容を保存します。

セキュリティウォーターマーク設定のロック

管理者は、選択したセキュリティウォーターマークをロックすることによって、すべてのジョブでセキュリティウォーターマークを印刷することができます。プリンタアイコンを右クリックし、プロパティを表示させてから印刷設定画面を開いてください。

1 **[**拡張機能**]** タブで、セキュリティウォーターマークの各種設定を行ってください。

2 **[**デバイス設定**]** 、**[**管理者設定**]**、**[**セキュリティウォーターマークのロック**]** の順に選択します。

3 **[**セキュリティウォーターマークのロック**]** ダイアログボックスに、4 から16 文字のパスワードを入力し、確認のため再度入力します。

4 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定内容を保存します。

セキュリティウォーターマークのロックを解除するには、**[**セキュリティウォーターマークのロック**]** をオフにして、パスワードを入力します。

セキュリティウォーターマークを一時的にロック解除して設定を変更するには、**[**拡張機能**]** 、**[**セキュリティウォーターマーク**]**の順に選択し、**[**ロック解除**]** をクリックしてパスワードを入力します。設定を変更した後、セキュリティウォーターマークは、**[**デバイス設定**]** 、**[**管理者設定**]** でロック解除されるまでロックされたままになります。

簡単色調整

簡単色調整は、印刷ジョブで単一の色を正確に一致させることができるプラグイン機能です。このオプションコンポーネントをインストールするには、インストール 章を参照してください。この機能を使用して、レターヘッドや会社のロゴなど、黒以外に 1 色のみが含まれる文書を印刷できます。色は無地でムラがなく、濃淡なしでなければなりません。簡単色調整は、複数の色や写真を使用した文書では機能しません。

[簡単色調整**]** ダイアログボックスでは、スポイトツールを画面上の文書にドラッグして色を選択するか、または RGB 値がわかっている場合はその値を入力できます。印刷された簡単色調整表を参照すると、用紙上で 121 色のバリエーションを確認して、目的のバリエーションを選択できます。**[**色合い**]** および **[**明るさ**]** の設定は、選択したバリエーションに従ってドライバで調整されます。

[印刷品質**]** > **[**調整**]** 機能のカスタム設定に対応するカスタム設定を最大 3 つまで指定できます。また、**[**色再現モード**]** オプションを選択することもできます。

インストールされている場合は、**[**簡単色調整**]** ボタンが **[**拡張機能**]** タブに表示されます。選択した PDL が PDF の場合や、**[**管理者設定**]** ダイアログボックスで **[**白黒モード**]** が選択されている場合、**[**簡単色調整**]** ボタンはユーザインタフェースに表示されません。次の設定または環境の場合、**[**簡単色調整**]** は使用できません。

- **[**印刷品質**]**、**[**基本設定**]**、または **[**簡単設定**]** タブの **[**白黒**]**。
- クライアント/サーバ環境。

RGB 色の印刷向け最適化

簡単色調整を使用して、印刷ジョブで単一の色を正確に一致させることができます。**[**簡単色調整**]** ダイアログボックスで選択したオプションは、**[**印刷品質**]** > **[**調整**]** にも保存されます。**[**簡単色調整**]** ダイアログボックスの[情報] アイコンをクリックすると、いつでも手順を参照できます。

1 目的の色が含まれる文書を開きます。

2 アプリケーションの **[**ファイル**]** メニューから、**[**印刷**]** をクリックし、次に **[**設定**]** または **[**プロパティ**]** をクリックして **[**プロパティ**]** ダイアログボックスを開きます。

3 **[**拡張機能**]** タブをクリックし、**[**簡単色調整**]** をクリックします。

4 **[**簡単色調整**]** ダイアログボックスの **[**色調整**]** で、**[**カスタム **1]**、**[**カスタム **2]**、または **[**カスタム **3]** を選択します。

5 **[**色再現モード**]**で、使用可能なオプションを選択します。

6 次のいずれかの方法で色を選択します。スポイトツールをクリックして画面上の任意の場所へドラッグし、目的の色を選択します。色の RGB 値がわかっている場合は、RGB の各ボックスにその値を入力するか、上矢印または下矢印ボタンをクリックして値を調整します。

色のプレビューボックスに色が表示されます。

7 プリンタアイコンをクリックして、選択した色のバリエーションが表示された 1 ページの表を印刷します。印刷された簡単色調整表から、目的のバリエーションを選択します。

8 **[**簡単色調整**]** ダイアログボックスで、色のプレビューボックス横にあるスピンボックスに選択したバリエーション (1 ～ 121) の番号を入力するか、または上矢印または下矢印ボタンをクリックして番号を選択します。

9 必要に応じて、**[**説明**]** ボックスにカスタム設定の説明を最大 30 文字で入力します。この説明は、**[**簡単色調整**]** ダイアログボックスにのみ表示されます。

10 **[OK]** または **[**適用**]** をクリックして、設定を保存します。

ステータスモニタの構成

ステータスモニタ は、印刷中ウィンドウの右下にプリントシステムのステータスメッセージを表示します。サポートされている各プリントシステムごとにステータスモニタを起動できます。同時に複数のステータスモニタを表示できます。

1 [拡張機能] タブで [ステータスモニタ] をクリックします。

2 印刷ジョブ中にステータスモニタのイメージを表示させる場合は、[ステータスモニタ] ダイアログボックスで、[ステータスモニタ] チェックボックスをオンにします。

3 ステータスモニタ の設定を変更しないで印刷ジョブのステータスを表示するには、[ステータスモニタを起動] をクリックします。

パソコン画面の右下に ステータスモニタ のイメージが表示されます。

4 ポインタを ステータスモニタ イメージの上に移動すると、プリントシステムの状態およびプリンタポートに関する情報を含むポップアップのステータスメッセージが表示されます。

5 オプションの一覧を表示するには、システムトレイの [ステータスモニタ] アイコンを右クリックします。

- ステータスモニタを表示/非表示

  ステータスモニタ イメージの表示と非表示を切り替えます。

  参考: または ステータスモニタ イメージの上で右クリックして、[ステータスモニタを非表示にする] をクリックしても非表示にできます。あるいは、5 分間印刷状態が何もなければ自ら ステータスモニタ を閉じます。

- プリントシステムの設定

  Web ブラウザを開いてプリンタの Web ページを表示するには、[プリントシステムの設定] をクリックします。プリントシステムの印刷解像度およびスリープタイマの機能を設定できます。

  参考: プリンタがUSB ケーブルに接続されている場合は、この機能は使用できません。プリンタの操作パネルから設定を行ってください。

- ステータスモニタの設定

  ステータスモニタ の音による通知およびデザイン選択に関するオプションのダイアログボックスを開くには、[設定] をクリックします。

- **www.kyoceramita.com**

  www.kyoceramita.comをクリックすると、Webブラウザで京セラミタのホームページが開きます。

- アプリケーションの終了

  ステータスモニタ を閉じるには、[終了] をクリックします。

ステータスモニタの設定

[ステータスモニタの設定] ダイアログボックスで、サウンドや音声と一緒にプリントシステムの警告を設定できます。またステータスモニタのイメージを変更することもできます。

1 システムトレイでステータスモニタアイコンを右クリックします。

2 **[**ステータスモニタの設定**]**をクリックします。

3 **[**音声通知**]** タブをクリックします。

4 **[**イベントの通知を有効にする**]** チェックボックスをオンにします。

5 ステータスモニタ警告を表示するイベントを選択します。

- カバーオープン
- 紙づまり
- 用紙切れ
- スリープ
- トナー切れ
- トナー残量少
- 未接続
- 印刷中
- 印刷完了

6 **[**音声通知**]** タブで、選択した警告にサウンドまたは音声を追加できます。

サウンドファイルを追加する:

[音声合成を使用する**]** チェックボックスをオフにします。

サウンドファイルテキストボックスが使用可能になります。サウンドファイル (.wav) の場所を入力するか、または参照してコンピュータに保存されているファイルを見つけます。

スピーチを追加する:

[音声合成を使用する**]** チェックボックスをオンにします。

テキストボックスに任意のテキストを入力します。Microsoft の音声合成ユーティリティによって入力したテキストが読み込まれ、音声によって再生されます。

7 ステータスモニタ イメージのサイズ、配置、および透明度を変更するには、**[**表示**]** タブをクリックします。

ウィンドウ拡大

選択すると、ステータスモニタ イメージとテキストバルーンのサイズを 2 倍に拡大します。

常に手前に表示

選択すると、ステータスモニタ を、他の開いているウィンドウの中で常に一番手前に表示します。

透明度

このオプションは、イメージを通して表示される背景の透明度を ステータスモニタ で調整できるようにします。ボックスに 0 から 50 までの値を入力します。値が大きいほど透明度も高くなります。値に 0 を指定すると完全に不透明なイメージとなります。

8 **[**設定**]** ダイアログボックスで、設定を保存するには **[**適用**]** をクリックし、設定を保存してダイアログボックスを閉じるには **[OK]** をクリックし、または設定を保存しないでウィンドウを閉じるには **[**キャンセル**]** をクリックします。

EMFスプール

エンハンスメタファイル (EMF) は、Microsoft Windows オペレーティングシステムによる印刷で使用されるスプールファイル形式です。アプリケーションから印刷ジョブが送られると、ジョブはスプールファイルに転送されます。アプリケーションはスプールファイルに書き込み、プリンタドライバは同時にスプールファイルから読み取ります。複数の文書や大量の文書を印刷する場合、この機能を使用すると、プリンタがまだ文書を印刷している間でもユーザはアプリケーションに素早く戻ることができます。

EMF スプールを使って印刷するには、**[**拡張機能**]** タブで、**[EMF** スプールを行う**]** チェックボックスをオンにします。通常どおり、印刷処理を続行します。

参考**:** EMF スプールは、**[KPDL** 詳細設定**]** ダイアログボックスで **[**パススルーモード**]** が選択されている場合は使用できません。

クライアント・プロファイルを有効にする

クライアント・プロファイルとは、クライアント/サーバ環境でサーバに保存されていて、クライアントがアクセスするプロファイル設定を指します。**[**拡張機能**]** タブのこの機能を使用することで、管理者はサーバ上のプロファイルを管理および配布できます。ローカルプロファイルとサーバプロファイルのどちらを使用するかを選択できます。この機能は、サーバ・クライアント環境のクライアント（PC側）で使用する機能です。

サーバで保存されているプロファイルを、クライアント側で印刷ジョブに適用するには、**[**クライアント・プロファイルを有効にする**]** チェックボックスをオフにします。サーバプロファイルは読み取り専用です。

[クライアント・プロファイルを有効にする**]** チェックボックスをオンにすると、クライアント側で作成したプロファイルを使用します。

11 プロファイル

プロファイルを使用すると、プリンタドライバ設定をプロファイルとして保存できます。[簡単設定] および [印刷設定] タブで複数のオプションを選択し、プロファイルに保存して、プロファイルに適用するときにこれらをすべて一括で使用できます。初期設定 プロファイルも含めて、1 つのドライバに最大26 のプロファイルを作成できます。[デバイス設定] タブで設定したデバイスオプションは、プロファイルには保存できません。

これらの機能は、[プロファイルの選択] ダイアログボックスで使用可能です。

プロファイルの追加

[追加] ボタンを使用して独自のプロファイルを作成することができます。プロファイルには、ドライバの現在の設定がすべて含まれます。プロファイルを使用すると、すべての設定を再選択する必要がなくなり、同じタイプの印刷ジョブを繰り返し印刷することができます。[プロファイル設定] ボタンは、[印刷設定] の下のすべてのタブの下部に表示されます。

1. [印刷設定] を開き、すべての設定を行い、印刷ジョブ用の印刷オプションを設定します。

2. [プロファイル設定] > [追加] をクリックします。

3. プロファイルを識別するため、名称を入力し、アイコンを選択して、コメントを入力します。

4 **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

新しく追加されたプロファイルが、**[**プロファイル設定**]**ダイアログボックスに表示されます。

5 **[**適用**]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで有効にするか、または **[OK]** をクリックしてプロファイルを追加します。

参考: プリンタドライバをデフォルト設定にリセットするには、初期設定 プロファイルを選択し、**[**適用**]** をクリックします。プロファイルの設定は消去され、初期設定に戻ります。

プロファイルの編集

[編集**]** ボタンを使用して既存のプロファイルを変更できます。**[**初期設定**]** オプションは編集できません。

1 **[**プロファイル設定**]** をクリックします。

2 **[**プロファイルの選択**]** セクションで、編集するプロファイルを強調表示し、**[**編集**]** をクリックします。

3 [名称]、[アイコン] 、および[コメント] の3つのオプションは編集できます。**[OK]** をクリックして編集した変更を保存します。

新しく編集されたプロファイルが、**[**プロファイル設定**]**ダイアログボックスに表示されます。

4 **[**適用**]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで有効にするか、または **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

プロファイルの削除

[削除**]** ボタンを使用して、既存のプロファイルを削除できます。初期設定 プロファイルは削除できません。

1 **[**プロファイル設定**]** をクリックします。

2 **[**プロファイルの選択**]** セクションで、削除するプロファイルを強調表示し、**[**削除**]** をクリックします。

3 プロファイルの削除を確認するメッセージが表示されます。**[**はい**]** をクリックして削除します。

4 **[OK]** をクリックして **[**プロファイル設定**]** ダイアログボックスを閉じます。

プロファイルのインポート

[インポート**]** ボタンを使用して、プロファイルのコピーを他のプリンタドライバからお使いのプリンタドライバにインポートできます。

1 **[**プロファイル設定**] > [**インポート**]** の順にクリックします。

2 既存のプロファイル (.KXP) を参照して選択し、**[**開く**]** をクリックします。

インポートされたファイルの中に、既存のドライバでは使用できないプロファイル設定が含まれている場合はメッセージが表示されます。プロファイルをインポートするには **[**はい**]** 、インポートをキャンセルするには **[**いいえ**]** をクリックします。

3 前の手順で **[**はい**]** を選択した場合、**[**プロファイル**]**ダイアログボックスに新しくインポートされたファイルが表示されます。

4 **[**適用**]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで有効にするか、または **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

プロファイルのエクスポート

[エクスポート**]** ボタンを使用して、プロファイルのコピーをお使いのプリンタドライバから他のプリンタドライバにエクスポートできます。(**[**初期設定**]**オプションは編集できません。)

1 **[**プロファイル設定**]**をクリックします。

2 **[**プロファイルの選択**]**セクションで、エクスポートするプロファイルを選択し、**[**エクスポート**]**をクリックします。

3 **[**プロファイルのエクスポート**]**ダイアログボックスが表示されます。プロファイルに名前を付けて保存します。

4 **[OK]** をクリックして **[**プロファイル設定**]** ダイアログボックスを閉じます。

KYOCERA

お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社
京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-9-15

http://www.kyoceramita.co.jp

お客様相談窓口

市内通話料金でご利用いただけます。